

至誠無息
堅忍不拔



創立明治33年(1900)
開校明治34年(1901)
神奈川県第二中学校



第35号

神奈川県立小田原高等学校
同窓会 楂友会

発行者 会長 吉川伸治
編集者 広報委員会
委員長 原田泰隆

住所 〒250-0045
小田原市城山3-26-1
電話・FAX 0465-20-3281
メールアドレス
kenyukai@odako.org

題字:大島修穂(雅文)さん(高32) 背景:桜林と上庭の写真



2024年度 楂友祭(小田高ホームカミングデー)／総会

期日：2024年5月12日(日)

会場：小田原高校

■ 楂友祭(小田高ホームカミングデー)：校内各施設

同期会やクラス会、部OB会などの同時開催を歓迎します。

■ 同窓会総会：視聴覚教室

※上記は現在計画中です。確定次第、**「<https://odako.info/>** でお知らせします。

賑わい戻り…母校に帰る

総会・桜友祭（小田高ホームカミングデー）



5月14日（日）、新型コロナ感染症の位置づけが5類に移行したのを受け、「基本的感染症防止対策」にご協力いただきながら、総会と桜友祭の催事を実施しました。

受付票記載者341名（内、一般参加者82名、同窓生の家族20名、在校生1名）で、来場者数はコロナ前の平均値に近く、来場時間帯データではヒカシューのコンサートを目的に参加された方を中心に、同窓生以外の参加者が多い状況でした。



総会



中島校長



吉川会長

◆卒業後の節目を祝う…開会式

開会式では卒業後の節目を迎えた高15回と高25回卒業の方々に吉川同窓会長（高23）から記念の小田高絵葉書を贈呈。岩越氏（高15）と室伏氏（高25）に受け取っていました。

なお、今回は八幡山コンサートの音響機材が膨大で設置・撤去時間が縮のため、写真に見られるように、ステージに音響機材を設置したまま視聴覚室の催事を行いました。

◆真剣な討議も…同窓会総会

はじめに吉川会長と中島校長にご挨拶いただき、鈴木紀雄氏（高19）を議長に選出し、以下の議事を進行しました。

(1) 4月29日開催の常任幹事会審議結果（令和4年度会務報告・事業報告、同一般会計決算、財産台帳・会計監査結果、令和5年度事業計画・一般会計予算、常任幹事会議事録）について報告



巻上氏（左）と三田氏（右）

◆八幡山トーキーと連携：企画展
校史展示室の企画展は八幡山トーキーと連携し「第100回箱根駅伝
念 櫻をつないだ小田高卒業生の選手たち」を開催。主に次の卒業生を紹介。

◆八幡山トーキーと連携：企画展
ヒカシューワールド全開のステージの動画を高音質で櫻友祭HPに掲載しましたので、ぜひご覧ください。

三田両氏と同期の高26同期会の方々が協力で混乱なくコンサートを行いました。

機したところ想定通り大盛況。巻上・
方々からの公演に関する電話での問い合わせが例年に多く多かつたので、事前に混雑対応策などを徹底して待

機したところ想定通り大盛況。巻上・
方々からの公演に関する電話での問い合わせが例年に多く多かつたので、事前に混雑対応策などを徹底して待

機したところ想定通り大盛況。巻上・
方々からの公演に関する電話での問い合わせが例年に多く多かつたので、事前に混雑対応策などを徹底して待

機したところ想定通り大盛況。巻上・
方々からの公演に関する電話での問い合わせが例年に多く多かつたので、事前に混雑対応策などを徹底して待

5. 第75回大会をともに走った中央
26. 第75回大会をともに走った中央
3. 兄弟で走った横浜国立大学の武井英雄（中43）、武井孝雄（高3）
4. 第54回大会をともに走った筑波大学の石塚靖夫（高25）、森二郎（高26）、早稲田大学の内野郁夫（高26）



窓梅会資料室 写真に残す？

◆次の事項を承認
・役員改選

・次年度総会開催日5月12日（日）
「総会出席者が少ない理由とその対策は？」との質問に会長が丁寧に答えるなど真剣かつ円滑に進行し、予定時間内に終了しました。

◆箱根駅伝と小田高・八幡山トーキー

総会に引き続いて第100回箱根

駅伝記念の対談「櫻をつないだ小田高卒業生の選手たち」を開催。

対談の概要は別掲の通りですが、出演者とコーディネーターが綿密に打ち合わせ、実感のこもった充実した内容で、「なぜ小田高で箱根駅伝をテーマに対談するのか？」がよくわかるトーキーでした。

◆櫻友祭HPに動画を掲載しております

駅伝記念の対談「櫻をつないだ小田高卒業生の選手たち」を開催。

◆庄巻の大熱演：
八幡山コンサート

小田高同期（高26）の巻上公一。

三田超人両氏が所属し、即興性と独特な世界観を持つ

楽曲が融合する唯一無二のロックバンドとして活躍し

続けるヒカシューに一度は母校で演奏をとの願いで実現。



ランニングシャツ・ゼッケンほか

- ◆貴重な公開：窓梅会資料室
- 南館3階入り口にある小田原城内高校同窓会・窓梅会の資料室を本年も公開していました。
- 「女子中等教育の貴重な資料が多い窓梅会資料室の公開をぜひお願いしたい」との要望を受け入れてくださったことを感謝いたします。
- 企画展は令和6年4月末まで事前予約でご覧いただけますので、櫻友会宛に電話またはメールでご連絡ください。
- 示品は写真、実際に着用したランニングシャツ、ゼッケン、シューズ、大会申込用紙、大会プログラムなど。また、第75回大会の5区と10区のDVDを常時上映し、豊田・平野両選手の活躍を紹介。
- ◆大学の豊田雄樹（高4）、神奈川大学の平野泰輔（高4）
- 卒業生選手全員の戦績を紹介。展示品は写真、実際に着用したランニングシャツ、ゼッケン、シューズ、大会申込用紙、大会プログラムなど。また、第75回大会の5区と10区のDVDを常時上映し、豊田・平野両選手の活躍を紹介。

◆在校生が案内…キャンパスツアー

毎年人気のキャンパスツアー。今回は前期中間試験前の部活動禁止期間から外れたため、生徒会に案内役の選出を依頼。事前に同窓会担当者と打ち合せたメンバーは、リハーサル中の音響調整室など独自の見所も選択。生き生きとツアーを運営しました。



見上げる



音響調整室

◆同窓生パネル展示…サイエンス篇



パネル展示

◆恒例の…グッズ販売

今年も記念史や桜友会グッズを販売しました。



記念史・グッズ

○高27同期会 同期生がメンバーの小田原鉄道歴史研究会の展示を実施。



展示で参加

○高40同期会 同期の集合と寺子屋スクールⅡの展示を実施。



意欲十分

ご共催いただいた母校の全面的なご協力をはじめ、各催事関係者、運営にご協力いただいた同窓生など、すべての関係者に感謝申し上げます。

桜友祭実行委員長

蛭田克美（高15）

◆小雨の中…記念樹ツアーヨー
昨年に続き、母校内のかけがえのない多数の樹木を巡る記念樹ツアーヨーを実施しました。
あいにく小雨模様でしたが、仮野史料委員長の説明に熱心に聞き入る参加者の様子が印象的でした。

また、小冊子は後日、母校の全在校生、教職員に贈呈しました。
展示の詳細は桜友祭HPに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



リコーダー楽団OG 7の演奏



いろいろ相談



活発に

○高32同期会 同期会活動の報告会を実施。



○高31同期会 11月開催予定同窓会の準備活動を実施。



意欲十分



小田高でヒカシュー

**記憶の断片たちが、
ビートを刻む毎によみがえる。**



ヒカシューというバンドを結成してから45年経つ。日本のみならず世界のあちこちで演奏してきたが、母校での演奏はかなり特別なものだった。

高校時代ははぐれ者であり、音楽の境界線を跨いで生きる、ぼくのようないい高校なんだ。そ

新入生を歓迎する垂れ幕は、朝礼の校長先生の挨拶の途中で、一斉に窓から垂れ下がった。生徒の自主的な仕込みらしい。

高校時代ははぐれ者であり、音楽の境界線を跨いで生きる、ぼくのようないい高校なんだ。そ

新入生を歓迎する垂れ幕は、朝礼の校長先生の挨拶の途中で、一斉に窓から垂れ下がった。生徒の自主的な仕込みらしい。

新入生を歓迎する垂れ幕は、朝礼の校長先生の挨拶の途中で、一斉に窓から垂れ下がった。生徒の自主的な仕込みらしい。

新入生を歓迎する垂れ幕は、朝礼の校長先生の挨拶の途中で、一斉に窓から垂れ下がった。生徒の自主的な仕込みらしい。

新入生を歓迎する垂れ幕は、朝礼の校長先生の挨拶の途中で、一斉に窓から垂れ下がった。生徒の自主的な仕込みらしい。

高校時代ははぐれ者であり、音楽の境界線を跨いで生きる、ぼくのようないい高校なんだ。そ

新入生を歓迎する垂れ幕は、朝礼の校長先生の挨拶の途中で、一斉に窓から垂れ下がった。生徒の自主的な仕込みらしい。

新入生を歓迎する垂れ幕は、朝礼の校長先生の挨拶の途中で、一斉に窓から垂れ下がった。生徒の自主的な仕込みらしい。

新入生を歓迎する垂れ幕は、朝礼の校長先生の挨拶の途中で、一斉に窓から垂れ下がった。生徒の自主的な仕込みらしい。

新入生を歓迎する垂れ幕は、朝礼の校長先生の挨拶の途中で、一斉に窓から垂れ下がった。生徒の自主的な仕込みらしい。

新入生を歓迎する垂れ幕は、朝礼の校長先生の挨拶の途中で、一斉に窓から垂れ下がった。生徒の自主的な仕込みらしい。



卷上公一（高26）

応援団の容赦ないス

詳しい文芸部の部員。サッカーをす

ると常にオフサイドになってしま

る自分。

ラブレターの運び屋をしてくれた

応援団の友だちは、運び屋からその

派手なホール仕様だった。

新聞部の先輩たち、同級生、城内

高校の知人たちが来てくれたのは、

本当にうれしかった。そして、遠く

から来てくれた一般のファンの人た

ちに感謝したい。

もし可能なら、毎年、小田高で演

奏したい。迷惑だろうか？

高校時代ははぐれ者であり、音楽の境界線を跨いで生きる、ぼくのようないい高校なんだ。そ

新入生を歓迎する垂れ幕は、朝礼の校長先生の挨拶の途中で、一斉に窓から垂れ下がった。生徒の自主的な仕込みらしい。

新入生を歓迎する垂れ幕は、朝礼の校長先生の挨拶の途中で、一斉に窓から垂れ下がった。生徒の自主的な仕込みらしい。

新入生を歓迎する垂れ幕は、朝礼の校長先生の挨拶の途中で、一斉に窓から垂れ下がった。生徒の自主的な仕込みらしい。

新入生を歓迎する垂れ幕は、朝礼の校長先生の挨拶の途中で、一斉に窓から垂れ下がった。生徒の自主的な仕込みらしい。

新入生を歓迎する垂れ幕は、朝礼の校長先生の挨拶の途中で、一斉に窓から垂れ下がった。生徒の自主的な仕込みらしい。



人生とは不思議なものだ。歌も樂

いつも新しい発見が・・・

桜友ウォーク



平成26年度から健康と啓発を目指して桜友会員、家族だけでなくその他一般の方も参加できる新企画として始まった桜友ウォーク。

当初は「小田原の自然を楽しみながら、歴史も勉強するというウォーキングです」とのふれこみでしたが、近年は小田原以外の近隣地域にも足を延ばしながら、毎回新しい発見のある楽しいウォークを継続しています。

今年度、秋までに開催した2回の模様を報告します。

第11回桜友ウォーク

令和5年4月23日（日）、新型コロナの位置づけの「5類」への引き下げを追い風に、仙石原スキーの草原から箱根湿生花園まで、箱根ビジターセンターの上妻信夫さん（高15）の案内で歩きました。

◆景観を保持する野焼き

8時30分に小田原駅東口二宮金次郎銅像前に集合し桃源台行バスに乗車、仙石高原バス停で下車し、ススキの草原入口に向ってウォーク開始。仙石原スキーの草原と言えば銀色から黄金色に変化する草原のイメー



スキーの原入り口

ジが強いのですが、当日は3月16日に行われた野焼きを経て新緑の草原が広がっていました。

野焼きは山火事を防ぐためにかなりの人員と経費を伴う大事業です。

元々茅葺屋根用ススキの品質を保つために行われていましたが、茅葺屋根の減少に伴い一時期中止し、その後、観光資源であるススキの景観を保つための事業として復活し現在に至っているそうです。

◆新緑のススキ草原

時期的には野花が咲き始めるころだと聞いていましたので草原の中にかなりの野花を期待したのですが、実際には野花は少なく見つけるのに苦労する状況でした。



湿生花園で

◆変化を続ける箱根湿生花園

箱根湿生花園へは緩やかな下り坂が多く、沿道の景色を楽しみながら余裕のウォークでした。

こから眼下に広がる箱根湿生花園に向かいました。



新緑の草原

その仙石原湿原に隣接しているのが箱根湿生花園。32年前の開園時は、かなりささやかな植物園だった記憶がありますが、現在、園内には低地から高山まで、日本の各地に点在している湿地帯の植物200種のほか、草原や林、高山植物1100種が集められ、その他、珍しい外国の山草も含め、約1700種の植物が四季折々に花を咲かせています。

園路は低地から高山へ初期の湿原から発達した湿原へと順に植物を見つめわるようになっています。そもそもこの植物園は、仙石原湿原の存在を広く知つてもらうため、湿原環境を大切に保護していくこうと、南北朝時代に宗良親王が河村城に難を逃れた時から始まつたという伝承いう観点から設けられた施設で、現在も湿原保持のための実験がかなり広大な面積で行われていることを知ったのも新鮮な発見でした。

第12回桜友ウォーク 秋の山北「お峰入り」

令和5年10月8日（日）、これま

でと趣向を変え、「山北のお峰入り」ユネスコ無形文化遺産登録記念公演の見学を中心に、公演見学の後はウォーキングを行いました。

◆山北のお峰入りとは

以下は山北町ホームページ掲載資料からの抜粋です。



棒踊り隊

「お峰入り」は、山北町共和地区に古くから伝わる民俗芸能です。「お峰入り」とは山中で修行することを意味し、修驗道の儀礼が芸能化したと考えられています。また、南北朝時代に宗良親王が河村城に難を逃れた時から始まつたという伝承もあり、笛・太鼓の調べや歌詞は万葉の時代を感じさせます。

演技は8種類、11演目あり、天狗、獅子、おかげ、山伏、太鼓、笛などの役を80名の男性が演じます。歌や踊りはすべて口伝で伝承されており、近年では概ね5年ごとに公演を行っています。

なお、現在のお峰入りは、昭和9

年に40年ぶりに復活させ、古い衣装道具を見本に新しく整え伝承されたものです。史料で確認できる最も古い行事の記録は文久3年（1863年）8月16日にさかのぼります。

注：指定名称は「お峰入り」ですが、町屋地元では「お峯入り」と呼称しています。

◆不思議な空気感の中で

国府津から乗車した御殿場線の車内が混雑していて、山北駅では公演の行われる川村小学校側に誘導され、普段と全く異なる雰囲気でした。

会場でも延々と人の流れが続きましたが、QRコード付きの指定席券で無事座席につきました。



開会式



河村城址で

◆櫻友会員と在校生が参加

小田原からのバスと会場に直行した会員、在校生など、合計68名が参加しました。

◆ワオーラは短縮

公演終了後、河村城址に向かいまた貴重な体験でした。

る・・・

笛と太鼓だけの素朴な演奏に乗り、ゆつたりと演目が展開し、曇り空の下、不思議な空気感が漂う。なんとも心地よい時間が流れ

開会式が終わり、公演が始まると会場の雰囲気が一転。笛と太鼓だけの素朴な演奏に乗り、ゆつたりと演目が展開し、曇り空の下、不思議な空気感が漂う。なんとも心地よい時間が流れ

◆櫻友会員と在校生が参加

小田原からのバスと会場に直行した会員、在校生など、合計68名が参加しました。

◆声高らかに応援歌・校歌を齊唱

小田高櫻友会は、第一部8番目に「逍遙歌」が静かに流れる中、出演者はそれを口ずさみながら舞台に整列。

在校生によるリードと大太鼓の響きにのって、出演者全員が声を合わせ、元気よく且つ整然と歌い上げました。

歌った曲は、応援歌の「冠たる伝統」（昭和22年発表）、「コチャ工節」（昭和15年頃作）、校歌（昭和3年制定）の3曲です。

2曲目の「コチャ工節」では、出演者全員が肩を組み列ごとに左右に身体を動かしながら歌い、校歌の後、小田高へのエールを全員で行いました。



OBも壇上へ

第18回青春かながわ校歌祭に参加 世代を超えて在校生と歌い継ぐ

校歌祭担当副会長 剣持 栄（高29）

交流委員会

休憩小屋で急いで昼飯を済ませ、予定を変更して帰途につきました。洒水の滝までのコースを割愛しましたので、来年3月の桜の見ごろに山北を再訪する予定です。

したが、空模様が怪しくなりました。河村城址に到着するころには小雨が降り始めました。

山の天気は油断が禁物ですので、在校訓の「至誠無怠」「堅忍不拔」を染めた手拭を鉢巻にして、肃々と出発しました。

◆声高らかに応援歌・校歌を齊唱

小田高櫻友会は、第一部8番目に「逍遙歌」が静かに流れる中、出演者はそれを口ずさみながら舞台に整列。

在校生によるリードと大太鼓の響きにのって、出演者全員が声を合わせ、元気よく且つ整然と歌い上げました。

歌った曲は、応援歌の「冠たる伝統」（昭和22年発表）、「コチャ工節」（昭和15年頃作）、校歌（昭和3年制定）の3曲です。

2曲目の「コチャ工節」では、出演者全員が肩を組み列ごとに左右に身体を動かしながら歌い、校歌の後、小田高へのエールを全員で行いました。

◆参加高校一覧

（出演順・同窓会名略）

第一部

横須賀大津高校／吉田島高校／希望ヶ丘高校／商工高校／厚木東高校／津久井浜高校／横浜修悠館高校／小田原高校／湘南高校／横浜翠嵐高校／大和高校／秦野高校／厚木高校

第二部

平塚江南高校／横須賀高校／横浜立野高校／横浜平沼高校／光陵高校／柏陽高校／逗子高校／横浜緑ヶ丘高校／川崎高校／神奈川工業高校／



久しぶりの校歌でなごやかに記念撮影

追浜高校／麻溝台高校／鶴見高校
◆櫻友会員・在校生参加者数
卒回別等一覧

★櫻友会員（単位：名） 計42名

（高5） 1（高8） 2（高10） 6

（高11） 1（高13） 16（高14） 1

（高15） 2（高16） 1（高19） 2

（高20） 2（高22） 1（高23） 4

（高26） 1（高27） 1（高29） 1

（高30） 1（高32） 1

（高31） 1（高33） 1

（教員） 2

★学校関係 計24名

（在校生 剣道部・野球部） 22

★合計 68名

◆次回（第19回）平塚で開催

場所 ひらしん文化芸術ホール

実行委員長選出同窓会

日程 令和6年9月21日（土）

来年も多くの会員の皆様と在校生が一緒に、歌えることを期待しています。

令和5年度（2023）桜友祭八幡山トーク 第100回箱根駅伝記念 櫻をつないだ小田高卒業生の選手たち

令和5年5月14日（日）

11：30～12：30

小田原高校視聴覚教室（集成館ホール）

出演者紹介（敬称略）

滝谷彰久

滝谷寿光先生（中7）の孫、

山梨県立大学名誉教授

森二郎（高26）

第54回箱根駅伝 筑波大学選手

豊田雄樹（高47）

第73回・第75回箱根駅伝中央大学選手

平野泰輔（高47）

第75回箱根駅伝 神奈川大學生選手

小野文生（高28）コーディネーター

小田高陸上競技部元顧問、神奈川県高等学校体育連盟元会長

小野 本日はこのような会を催していただき、本当にありがとうございました。小田高陸上競技部の活躍が改めて発信できる機会もあります。



箱根駅伝の誕生

滝谷 祖父の滝谷寿光（中7）は、大正7年に東京高等師範学校（現筑波大学）を卒業して、母校である小田原中学校（現小田原高校）に物理化学の教諭として赴任し、閑院宮春仁王殿下（中16）のご教育を仰せつかりました。徒歩部（現陸上競

技部）の顧問として、河野謙三先生（中15）たちと唐人町・国府津間を走り、東京高等師範学校の先輩の

金栗四三先生も小田原中学校に何度か指導に来ました。翌大正8年に関東学生陸上競技連盟が創設され、金栗先生たちを中心に箱根駅伝をやろうという機運があり、そのとき祖父が小田原中学校の教員をしていたことが小田原中学校の教員をしていたこともあって、いろいろな仕事をさせていただきました。金栗先生たちは報知新聞社に主催をお願いしました。私が小さい頃から聞いている逸話で

すが、祖父が一人で箱根駅伝のコースを工事用の巻尺を使って測り、箱根山は暗い中をかがり火で測りました。

箱根駅伝と小田原高校の繋がりは非常に深いものがあります。では、実際に選手として走った方々に、高校時代のお話をうかがいたいと思います。

小田高陸上競技部の活動

小野 本日はこのように、小田高陸上競技部元顧問、神奈川県高等学校体育連盟元会長

森 小田高陸上競技部は昭和34年に全国で総合優勝し、武井壹郎先生もいて強いと言われ、「よし、俺も頑張ってみたい」という気持ちで小田高に入学しました。本当にきつい練習で勉強との両立が大変でした。陸

上競技場は土のため、雨が降るとトランクが池になる中で練習していました。先日、小田原フラワーガーデン近くの道で、内野君と競り合いましたが、ライバルの内野君といつことを思い出しました。私と内野君が3年のときに小野君たちが入部して、30年ぶりに県高校駅伝3位に入賞しました。小野君が3年のときも

ができたと言われています。

戦後、祖父は昭和25年から30年間、箱根駅伝の審判長を務めました。

小野 滝谷先生の小田原中学校への赴任があつたからこそ、箱根駅伝が始まつたと言つても過言ではなく、

当初小田原中学校の陸上競技部の生徒が松明を持つて道に迷わないよう選手を誘導したといふお話もあり、

上競技場は土のため、雨が降るとトランクが池になる中で練習していました。先日、小野君と競り合いましたが、ライバルの内野君といつことを思い出しました。私と内野君が3年のときに小野君たちが入部して、30年ぶりに県高校駅伝3位に入賞しました。小野君が3年のときも



きに合同練習会が箱根であり、豊田君の中学校の先生から「小田高に入学して駅伝を復活させてくれ」と言われ、小田高にチャレンジしました。高校時代いつも豊田君に全国レベルの景色を見せていただいたことが、箱根駅伝出場に繋がったと感じます。久野林道を使った山坂の起伏に富んだコースなど、練習場所に恵まれた環境の中、小野先生・中山先生といっしょに関東高校駅伝出場を目指し、実現することができました。

道や辻村農園と起伏に富んだコースで練習を積めたことが競技力向上に繋がりました。3年では県高校駅伝6位、関東高校駅伝8位（神奈川県勢3位）という結果を残すことができて、よい思い出ですし、大学に進学してから糧になりました。

豊田　ご指導いただいた先生、仲間練習環境に恵まれていたと感じます。小野文生先生（高28）、中山雅浩先生（高33）と経験豊富なお二人にご指導いただけたことは幸運だったと思います。また、小田高では3年間の秋まで部活動を続ける生徒は少数でしたが、陸上競技部は秋の駅伝まで続ける人が多く、みんなで駅伝に向けて頑張ろうという雰囲気の中で練

3位、その次が豊田君・平野君のときになります。

A black and white photograph of a man with dark hair, wearing a light-colored suit jacket, a white shirt, and a dark tie with small dots. He is seated at a desk, facing slightly to the right. His right arm is raised, with his hand open as if gesturing during a speech or interview. A microphone on a stand is positioned in front of him. The background shows shelves with various items and what looks like a chalkboard or large screen behind him.

箱根駅伝を実際に走った ときの気持ち

に繋がるもののが創立から脈々と続いているのだなと感じています。ここから実際に走られたときのお気持ちをお聞きしたいと思います。

小野 森先輩には内野先輩というラバールがいました。内野先輩はスーパースターで、関東高校駅伝トップ早稲田大学では箱根駅伝に花の2区をはじめ3回出場し、瀬古利彦選手がいたとき主将を務めました。みんな高校時代からお互いに切磋琢磨し、さらに大学に進んでもそれを続けられました。また、立地条件がよく、林道を走りに行きましたがたまに大平台のヘアピンカーブまで走る練習もしていました。箱根駅伝

間の4年間と違うんだぞ。後になってからあすればよかつたと何でも言える。今できることを全部やれ。苦労しなければ手にできないものがあるんだ」と言われました。それから死ぬほど、

1月2日までに刷してもらいました。お会いしました。

せんでした。3年
が予選会に落ちま
に何とか出場でき
呂町を走りました。
端、筑波大学の黄
、「私の名前が書
つの歩道橋には
!」という横断幕
ました。私が両親
電話したのが12月
も涙で泣
の夜に父が印刷屋

豊田 中央大学は練習が厳しくて最初はついていくことで精一杯でした。が、2年と4年のときに箱根駅伝を走ることができました。2年では地区で元を走る7区でした。初参加で経験不足もあり、オーバースペースからブレークとなり、当時優勝を狙っていたチームの勢いを完全に止める15人中区間14位という結果に終わりました。これは情けなく悔しくて、次は雪辱を果たすんだと練習に取り組みましたが、怪我と復帰の繰り返します。それを糧に生きています。

き前の選手と
3分、1000m離れていて、最後
今まで前の選手が見えませんでし
た。8区の選手は繰り上げ出発とな
り、私は櫻を渡せませんでした。汗
だくの櫻ですよ。本当に辛かったです
す。ただ、並み居るライバルや先輩
たちと競争して何とか10人に入り、「
走れた」ということが一生の宝物
です。67年間生きてきて、あの1時
間数分のことをはつきりと覚えてい

一生の中で一番頑張った練習をしました。第54回大会で筑波大学は往路最下位でした。雪のためた。6区の選手がスタートしてすぐコケて足を痛め、私が櫻を受けたと



ポート、平野君をはじめ他大学の選手の走りに奮起したこと、いっしょに練習してくれた同期の仲間や後輩の存在が大きかったと思います。その後、全日本大学駅伝で4区を走つて区間2位と結果を残すことができ、4年の箱根駅伝は5区の山上りを任せさせていただきました。平野君も調子を上げて本戦に出るという噂も聞こえ、「自分も負けてられない」と刺激を受けたのを覚えてています。実際のレースは、4位で襷をもらつた

しとなり、満足に練習もできず結果も出ない非常に辛い状態が約1年間続きました。3年の箱根駅伝が終わり、ようやく怪我も治り練習できるようになって、それからは一日一日今できることを積み上げていこうと不退転の覚悟で練習に取り組みました。夏前には1万メートル自口ベストを更新することができ、少しづつ結果が出るようになりました。ここ



平野 神奈川大学は1年のときは4区で途中棄権、2年・3年のときは初優勝・2連覇を果たし、私は4年のときに最初で最後の箱根駅伝10区で走りました。1年のときはBチームで徐々に力をつけていきました。2年では14人のエントリーメンバー争いをしましたが、メンバー入りはできませんでした。初優勝したときはうれしかったですけれども、悔しさ

ものの、目の前にいた3位の選手の背中がどんどん遠ざかり焦りましたが、山はペースを乱されて失速した際限なく落ちてしまいますので、しっかりと自分のペースを守り、落ち着いてレースを進めることができました。途中の大平台で両親と小田原陸上競技部の仲間が横断幕を持って応援してくれて力をもらいい、チームとしては往路4位個人でも区間4位と力を出し切る走りができて、年時の雪辱は果たせたかと思つてい

区間賞をとりました。そのようにお互い、ある程度意識しながら4年間を過ごしたと思います。最後の箱根駅伝では2連覇したチームの4年生として、3連覇を目指していました。残念ながら往路6位でし

います。当時、青東駅伝という青森・東京間を縦断する都道県対抗の駅伝があつて、神奈川県代表として豊田君と私が1年、2年、4年のときについしょに走りました。豊田君が好走すれば「自分も負けていたられない」という思いで走り、2年のときに区間賞をとったのは私が先でした。そこだけは勝ったかなと思ったのですが、その次の出走で豊田君も

も交じり、豊田君が地元の小田原を走りましたから、3年生になつて自分もレギュラーを目指して頑張つていこうと思いました。その矢先、豊田君と同じ時期に故障し、1年間ほとんど走れませんでしたが、あきらめませんでした。箱根駅伝を純粋に走りたかった。小田原を走ることを目標に掲げて頑張つてきましたので、4年生最後の箱根駅伝を迎えるにあたっては、リハビリも練習もくさらないで取り組みました。箱根駅伝だからそういう取り組みができたと思

小野 箱根駅伝の選手たちは毎日毎日何年間も大変な努力を続けて出場された。そう思うと選手を見る目も変わるのは当然だ。思ひながら聴かせていただきました。

たが、最後まで精一杯走らなければいけないという思いでスタートラインに立ちました。6、7、8、9区と好走してくれて、復路は1位で櫻を受けました。総合では3位で、前は3分半の差で駒澤大学が、後ろは1分差で中央大学が走っていて、追いつかれる可能性もある緊張感の中でスタートしました。鶴見中継所から日本橋を通過して大手町まで23kmという長い道のりを、本当に沿道の人が多く、夢の中を走っているような感じでしたが、走りの方はなかなか

箱根駅伝の未来、在校生卒業生へのメッセージ

森 私の好きな言葉に「やりたいことはやれるうちにやっておけ」という言葉があります。小田原高校3年

よかつたなど、そして箱根駅伝を走
れてよかつたなど、本当に今でも
思っています。

豊田 来年100回大会を迎える予
選会に全国の大学が参加できること
は、非常によいことだと思います。
長い目で見ると箱根駅伝を目指す選
手の裾野を広げることになりますし、
箱根駅伝全体のレベルアップにも繋
がるのではないかと期待しています。
ただこれは1年間だけでは無理です
ので、101回大会以降も継続して
いただけれどと思っています。在校



生に対しては、小田高は練習環境に恵まれていますので、ぜひ久野林道を走ってください！それで一人でも箱根を目指す人が増えてくれるとうれしいです。卒業生には、私は今、厚底カーボンプレートシューズや心拍・ストライドも測れるGPS時計を使いながら、ランニングを楽しんでいます。そういうたぎアも進化していますので、今は走っていないけれど、また走つてみようかなと考えている人がいれば、走るのを楽しんでいただくのもよいかと思います。

平野 箱根駅伝を夢見て高校・大学と走り続けた本当に充実した7年間、陸上競技に取り組んでよかつたなど今でも思っています。箱根駅伝だから頑張りました。箱根駅伝への関わり方はいろいろあると思います。本戦出場だけでなく、予選会を目指して頑張っている学生もいれば、関東学生陸上競技連盟で仕事をしている学生もあります。私も足柄上郡陸上競技協会に所属し、走路員として今まで箱根駅伝に携わらせていただいています。本当にいろいろな方の支えがあつて大会が成り立っています。いろいろな関わり方があるので、若い方たちには、そういったところにも取り組んでいただければ、より充実した4年間を過ごせるのかなと思っています。

澁谷 昨年、箱根駅伝は世界陸上競技連盟から世界陸上競技遺産（ヘリテージプラーカー）という賞をいただきました。100年続く伝統ある大

会です。将来100回大会以降の出場校の問題などありますが、金栗三先生が大会を立ち上げた目的は、将来のマラソン選手を同時並行的に大勢育成しようということであつたとうかがっています。ただ近年は、学生のみなさんが出場したいという思いから、目的が箱根駅伝に出場することになり、当初の目的と逆転していることもうかがっています。いずれにせよ、祖父の濵谷寿光（中7）は「陸上競技は個人種目だが、駅伝は団体戦でありチームワークが最も重要である」と述べていました。新しい試みと伝統を引き継いで次の世代に向けて箱根駅伝が発展することが、私やみなさんの願いだと思いますし、小田原高校という場所が箱根駅伝の時代と場所のクロスポイントになっていたということを知つていただければと思います。私は昨年まで山梨の大学教員でしたが、優秀な選手・監督・コーチを集め、箱根駅伝出場を大学経営の最大の目標とする大学もいくつかあります。正月の全国放送のテレビ中継をしてくれるので、各大学は虎視眈々としているのが実態です。私はそういう面だけではなくて、箱根駅伝は地域の人たちが毎年楽しみにしている、選手も地元を走れるという地域との繋がりがきわめて強い大会であると思います。この伝統をぜひこれからも継続して、次の100年に向けて大会が発展することを願っています。

小野 21名の小田高卒業生が箱根駅伝に出場された。この中で武井英雄先生（中43）、会場にいらして

3)、武井孝雄先生（高43）、武井3兄弟」として、箱根駅伝だけでなく青東駅伝の監督をお務めになるなど活躍されました。神奈川県の陸上競技を語るとき、本校の卒業生がいろいろなところで活躍されて現在があるということを私は誇りに思っていますし、ぜひ在校生も小

田高の伝統と誇りを引き続き持つていただければと思います。私が入学したとき、内野郁夫先輩（高26）が真冬に毎日拳が真っ赤になっていた。ただければと思います。私は昨年まで毎日家の外で二千回必ず腕振りをしているとかがい、先輩を超えるにはそれ以上の努力しかないなど感じてやってきました。

森 一郎と内野郁夫 文責 仮野慎一（高31）



第100回箱根駅伝記念 櫻をつないだ小田高卒業生の選手たち



実際に使用された手旗、シューズ、プログラム、ユニフォームなど

令和6年正月、箱根駅伝は第100回大会を迎えます。金栗四三らが

「世界に通用するランナーを育成したい」と願い、大学駅伝の創設を話し合いました。東京高等師範学校徒歩部（現筑波大学陸上競技部）で金

栗の2学年後輩だった濱谷寿光先生（中7）が、小田原中学校（現小田原高校）在職中、その企画を担当しました。東京から箱根まで歩いて距離を測り、往復10区間・各区間平均20kmで2日間とするコースを作りました。第1回大会では濱谷先生の指導のもと、5区で小田原中学校徒步部（現陸上競技部）の部員たちが松明を灯し、選手たちを伴走するなど協力しました。

以来、小田中・小田高の卒業生たちは、優勝に貢献したり、主将を務めたり、兄弟で走った選手たち

2 総合優勝した選手たち
早稲田大学の河野一郎（中12）、

河野謙三（中15）、中井賢一（中27）、
明治大学の牧野博（中38）

3 兄弟で走った選手たち
横浜国大の武井英雄（中43）、武井孝雄（高3）

4 第54回大会をともに走った選手たち
筑波大学の石塚靖夫（高25）、森二郎（高26）、早稲田大学の内野郁天（高26）

5 第75回大会をともに走った選手たち
神奈川大の平野泰輔（高47）

1 濱谷寿光先生（中7）
箱根駅伝のコースを作った濱谷

2 総合優勝した選手たち
早稲田大学の河野一郎（中12）、

河野謙三（中15）、中井賢一（中27）、
明治大学の牧野博（中38）

3 兄弟で走った選手たち
横浜国大の武井英雄（中43）、武井孝雄（高3）

4 第54回大会をともに走った選手たち
筑波大学の石塚靖夫（高25）、森二郎（高26）、早稲田大学の内野郁天（高26）

5 第75回大会をともに走った選手たち
神奈川大の平野泰輔（高47）

めたり、兄弟で出場したり、同じ大会とともに走ったり、さまざまな活躍をしてきました。箱根駅伝の長い歴史の中でも、全国的な陸上強豪校は別にして、県下有数の進学校である小田高の卒業生たちが、箱根駅伝に出場を続けて活躍していることは、小田高にとってすばらしい誇るべきことであり、明治以来の質実剛健といいう小田高の精神をつないでいると言えましょう。第100回大会を迎えるにあたり、箱根駅伝の意義をお考えいただけたら幸いです。

主に次の卒業生を紹介しています。

濱谷寿光先生（中7）

濱谷寿光先生（中7）は松田町に生まれ、県立第一中学校（現小田原高校）に入学。明治45年に東京高等師範学校（現筑波大学）へ進学し、徒步部（現陸上競技部）で2学年先輩の金栗四三と練習に励んだ。金栗

ケン、シューズ、大会申込用紙、大会プログラムなどです。さらに第75回大会の5区と10区のDVDを常時上映し、豊田選手と平野選手の活躍を紹介しています。本紙では次の4名を紹介します。

中央大学の豊田雄樹（高47）、神奈川大の平野泰輔（高47）また、卒業生選手全員の戦績を紹介しています。展示品は写真、実際に着用したランニングシャツ、ゼッケン、シューズ、大会申込用紙、大会プログラムなどです。さらに第75回大会の5区と10区のDVDを常時上映し、豊田選手と平野選手の活躍を紹介しています。本紙では次の4名を紹介します。

濱谷先生は大正7年に物理化学の教師として小田原中学校（現小田原高校）に赴任。徒步部（現陸上競技部）で毎日部員たちと国道1号線を国府津まで走った。金栗が何度も走り、部員たちと走って指導したり、全校生徒にマラソンの経験談を講演したりした。

大正8年に金栗らが世界に通用するランナーを育成するため、大学駅伝の創設を話し合い、濱谷先生がその企画を担当。東京から箱根まで歩いて、土木業者が使う大きな巻尺で距離を測った。箱根の山道を測るのが大変で、部員たちと地元の人たちが手伝い、夜まで提灯で照らしながら測った。こうして全區間を往復10区間に分け、各区間平均20kmで2日間とする詳細なコース資料を作成した。

大正9年2月14日（土）、第1回大会に東京高等師範学校、早稲田大学、慶應大学、明治大学が出席。午前中は授業のため午後1時スタート、小田原中継所に先頭ランナーが着いたのは午後6時30分。箱根の山上りは砂利道で真っ暗な中を走る。

濱谷先生は松明を点した部員たちを配置して山犬を追い払い、選手たちがコースをまちがえないよう、宮ノ下から芦之湯まで部員たちを伴走了させた。

早稲田大学初優勝を果たし た河野一郎（中12）

河野一郎（中12）は小田原市に生まれ、河野謙三（中15）の兄である。小田原中学校（現小田原高校）に入學し、大正5年の全校マラソン競走で3位、横浜貿易新報社（現神奈川新聞社）主催・県下中等学校マラソン大会（藤沢・横浜間30km）で12位。

河野謙三も活躍し、「マラソンの河野兄弟」として広く知られた。

早稲田大学競走部に入部して主将を務め、箱根駅伝に第1回から第4回大会まで毎年出場。第2回大会から3年続けて弟謙三とともに主力選手として活躍した。第3回大会では、首位だった東京高等師範学校（現筑波大学）を7区で抜いてトップに立ち、区間新記録を樹立、9分9秒差をつけて弟謙三に渡した。謙三も8区で区間新記録を樹立し、早稲田大学は初優勝を果たした。兄弟は翌第4回大会でも大活躍し、早稲田大学は2連覇を達成した。

大学卒業後、衆議院議員となり、農林大臣として日ソ国交回復を実現。建設大臣として東京オリンピックに向けた道路や施設の整備を躊躇することなく的確に進め、副総理・東京オリンピック担当国務大臣として昭



東京高等師範学校徒步部（現筑波大学陸上競技部）、千葉県館山の陸上競技練習会、前列中央が濱谷寿光先生（中7）、後列右が金栗四三、大正5年、濱谷彰久先生蔵

河野謙三（中15）、中井賢一（中27）、明治大学の牧野博（中38）兄弟で走った選手たち

横浜国大の武井英雄（中43）、武井孝雄（高3）第54回大会をともに走った選手たち

筑波大学の石塚靖夫（高25）、森二郎（高26）、早稲田大学の内野郁天（高26）第75回大会をともに走った選手たち

神奈川大の平野泰輔（高47）

農林大臣として日ソ国交回復を実現。建設大臣として東京オリンピックに向けた道路や施設の整備を躊躇することなく的確に進め、副総理・東京オリンピック担当国務大臣として昭

**人の走るは心の走るなり
武井英雄（中43）**

武井英雄（中43）は秦野市に生まれ、神奈川陸上界で有名な「武井三兄弟」の長兄である。社会の教師をして神奈川師範学校（現横浜国立大学）に進学後、陸上競技部で中距離を始め、3・4年生は主将を務めた。4年生の日対抗陸上競技大会では800mで初めて2分を切る1分58秒8の神奈川県新記録を出

和39年の東京オリンピック開催に尽力した。その後も副総理・体育振興のスポーツ担当大臣を務めた。一方、河野一郎らが中心となり大日本体育協会に代わる日本陸上競技連盟を大正14年に創設。日本陸上競技連盟第3代会長を務め、日本のスポーツ発展に貢献した。



第3回大会優勝旗を囲む早稲田大学駅伝チーム、前列右から二人目が主将の河野一郎（中12）、左端が弟の河野謙三（中15）、大正11年、『証言 河野謙三』より



第29回大会の横浜国立大学駅伝選手団、前列左から二人目が5区の主将・武井英雄（中43）、同右端が1区の弟の武井孝雄（高3）、昭和28年、武井正美様蔵

内野郁夫（高26）は小田原市に生まれ、小田高陸上競技部で1年生では国民体育大会県予選5000m3位、国民体育大会県予選5000m3位。3年生では、県大会と関東大会の500mで優勝、県と関東の高校駅伝1区で区間賞を獲得し、神奈

は、試走のタイムがよかつたので、好成績を出そうと湯本までに大汗をかき、函嶺洞門で冷えて腹痛を起こしてしまった。これらの経験は、後輩の第29回大会5区は、試走のタイムがよかつたので、好成績を出そうと湯本までに大汗をかき、函嶺洞門で冷えて腹痛を起こしてしまった。これらの経験は、後

早稲田大学駅伝主将 内野郁夫（高26）

内野郁夫（高26）は小田原市に生まれ、小田高陸上競技部で1年生では国民体育大会県予選5000m2位、2年生では国民体育大会県予選5000m3位、国民体育大会県予選5000m3位。3年生では、県大会と関東大会の500mで優勝、県と関東の高校駅伝1区で区間賞を獲得し、神奈

す。県が初参加した第2回青森東京駅伝を走り、第26～29回箱根駅伝を毎年走った。

3年生の第28回大会1区はみぞれの中、八ツ山橋を下るころ団体がペースを上げ、ついで行かれず最終走者になつた。孤独に耐えて走り続け、六郷橋を渡るとき前の走者たちが見えた。終盤のスピードに自信があつた武井は6人抜いた。4年生の第29回大会5区

は、監督を務めたときの糧となつた。大学卒業後、中学校・高校の体育教師となる。横浜国立大学の駅伝合宿中に食堂の黒板に書いてあつた「人の走るは心の走るなり」を座右の銘とし、技術よりもいうべき心で初めて総合優勝し、1500m元日本記録保持者の石井隆士など多くの選手を育成。青森東京駅伝は神奈川県選手団監督を8回務め、東日本縦断駅伝として復活したとき総監督を務めて優勝。神奈川県中学校体育連盟会長、横浜国立大学陸上競技部OB会ときわ会初代会長も務めた。



第54回大会5区の風祭を走る駅伝主将の内野郁夫（高26）、昭和53年、協力：早稲田大学競走部OB櫻井要様

本企画展の開催にあたり講師として今も人気の講師、「農業と環境」を受け持つ、陸上競技部の長距離コーチを務めた。

早稲田大学政経学部に進学し、競走部に入部。1年生の第51回箱根駅伝はエース区間「花の2区」を走った。早稲田大学は10年ほど前から低迷が続き、最下位の15位。2年生の第52回大会は、予選会で落ちて出場できなかつた。3年生では、中村清監督が復帰して瀬古利彦が入部。第53回大会で瀬古が2区でデビューリー、内野は地元の4区を走り、早稲田大学は13位。4年生の第54回大会は、瀬古が2区で7人抜き、内野は5区を走り、早稲田大学は順位を12年ぶり1桁の6位に上げた。内野は人望が厚く、4年生のとき長距離ブロッケ長、箱根駅伝主将を務めた。個人記録（区間順位）も3大会で15位、8位、7位と伸ばした。

大学卒業後は、フリーライターとして「ランナーズ」等に寄稿。一方で画家を目指してスペインに留学し、帰国後は個展を開催。その後、秋の南大菩薩などを歩いたことから森に关心を持ち、森林インストラクターの資格を取得して自然環境教育に努めた。早稲田大学本庄高等学院では

OB櫻井要様、箱根駅伝ミュージアム館長勝俣真理子様、濱谷彰久先生、中井勤様（高16）、武井良子様、武井正美様、吉田信男先生、石塚靖夫先生（高25）、森二郎先生（高26）、中山雅浩先生（高33）、豊田雄樹様（高47）、平野泰輔様（高47）より特段のご協力をいただきました。ここに厚く御礼申上げます。

中等教育史料館から

史料館の公開

定例公開は令和4年9月から令和5年8月まで、次のとおり実施しました。個人やグループの見学は、事前予約制により平日・休日とも無料でご覧になります。同窓会事務局までご連絡ください。



令和5年度企画展

名が来館しました。

第3回学校説明会

12月3日（土）、中学生と保護者計31名が来館しました。

新着任教職員

新着任教職員に小田高の歴史と伝統をご理解いただくため、平成29年度から母校のご協力のもと実施しています。令和5年4月3日（月）、計15名が来館しました。本年も母校のご配慮により40分の見学時間をいたしました。

新入生オリエンテーション

新入生に小田高の歴史と伝統を学んで小田高生としての自覚と誇りを持つていただくため、平成23年度から母校の全面的なご協力のもと、最も大切な公開行事として実施しています。4月10日（月）と12日（水）に担任の先生が自分のクラスを引きされ、1学年全9クラス、計330名が来館しました。

桜友祭（小田高ホームカミングデー）

令和4年10月22日（土）、中学生と保護者計23名が来館しました。

学校施設見学会

11月5日（土）、在校生と保護者計29名が来館しました。

PTA講演会

大多数の保護者が3年間に1度も史料館をご覧になつていなかっため、います。

PTA会長と相談し、PTAのご協力をもと平成26年度から公開しています。11月19日（土）、保護者計5名が来館しました。

小田高祭

6月17日（土）、18日（日）、生徒・保護者・卒業生・一般の方計105名が来館しました。

名が来館しました。
第1回学校説明会
8月5日（土）、中学生と保護者計12名が来館しました。

（金）に定時制授業として生徒3名、として3年次4クラスの生徒計11名、令和5年5月30日（火）にス

11月15日（火）に全日制日本史授業

12月3日（土）、中学生と保護者計31名が来館しました。

新着任教職員

新着任教職員に小田高の歴史と伝統をご理解いただくため、平成29年度から母校のご協力のもと実施しています。令和5年4月3日（月）、計15名が来館しました。本年も母校のご配慮により40分の見学時間をいたしました。

新入生オリエンテーション

新入生に小田高の歴史と伝統を学んで小田高生としての自覚と誇りを持つていただくため、平成23年度から母校の全面的なご協力のもと、最も大切な公開行事として実施しています。4月10日（月）と12日（水）に担任の先生が自分のクラスを引きされ、1学年全9クラス、計330名が来館しました。

桜友祭（小田高ホームカミングデー）

令和4年10月22日（土）、中学生と保護者計23名が来館しました。

学校施設見学会

11月5日（土）、在校生と保護者計29名が来館しました。

史料館の整備

放送部作品などのDVDを見学者にご視聴いただけるよう、校史展示室にポータブルDVDプレーヤー

を常備しました。本年度は企画展コーナーに置き、第75回箱根駅伝の卒業生選手の活躍を上映しています。



クリーニング・補修したオランウータン

は学術的価値だけでなく、近代中等教育の「歴史的教材」として教育学的価値も高い史料です。

この生物標本群を小田高の教育遺産として適切に管理・活用していくため、平成30年に母校と「生物標本群の管理・活用について（覚書）」を調印し、史料委員会が実務を担当しています。これまで生物教科室の遮光・遮熱カーテン設置、蛍光灯のLEDへの交換、キャブションの作成設置、剥製標本のクリーニング・補修、防虫剤の交換などを行ってきました。

記念樹シラカシ、第三代校舎正門柱の説明板は小田高が1～2年に一につづつ計画的に設置し、巨木クスノキの天然記念物指定は小田高が検討することになりました。

令和4年11月に同窓会が武道館の南側に「桜林」のシラカシ説明板を設置しました。校章「桜の葉」は小田高の象徴「桜林」から採られたものです。ご来校の折は、ぜひご覧ください。



「桜林」のシラカシ説明板

記念樹などの説明板設置と巨木クスノキの天然記念物指定について、シラカシの大木が群立する「桜林」は、大正3年（1914）に本校がここ八幡山に移転して以来、現在の武道館からその南側のグラウンドにかけて鬱蒼と茂り、本校の

生物標本群の保存・活用

5月14日（日）、卒業生と一般の方計59名が来館しました。この日から1年間、令和5年度企画展「第100回箱根駅伝記念 櫻をつないだ小田高卒業生の選手たち」を開催しています。

小田高には剥製標本が284点、液浸標本が303点、植物標本が593点、その他昆虫標本や貝類標本など計2500点ほどの生物標本があります。剥製標本は希少種が50点、明治時代のものが92点、大正時代のものが86点もあります。これら

記念樹関係事業

「桜林」のシラカシ
シラカシの大木が群立する「桜林」は、大正3年（1914）に本校がここ八幡山に移転して以来、現在の武道館からその南側のグラウンドにかけて鬱蒼と茂り、本校の

発展を見守ってきた。「桜林」は先生方と生徒たちの懐かしい思い出の場所であり、本校の象徴であった。

昭和23年（1948）、新制高等学校発足にあたり、生徒の応募により、「桜林」の「桜の葉」を採つて校章とした。校章「桜の葉」は、シラカシの強健さと生命力から、質実剛健を期する小田高健児の理想を具象化したものである。

その後、学校施設として体育馆（後の旧体育馆）の建設が必要となり、昭和32年（1957）、「桜林」は惜しまれながら伐採された。しかし、やがて地中に残されていた根やドングリから自然にシラカシが生え、この数本の大木へと成長した。

校史資料研究協議会

展示室を通して母校の発展に寄与するため、展示室を開設している県立横浜平沼高校、県立横須賀高校、県立小田原高校の同窓会が協力し、平成24年4月に校史展示施設置校（同窓会）連絡会が発足しました。その後、県立横浜緑ヶ丘高校牧陵会、県立平塚江南高校同窓会、県立鶴見高校鶴陵会が加わり、令和2年10月に6校同窓会からなる校史資料研究協議会となりました。

第5回校史資料研究協議会は令和

5年6月14日（水）、県立総合教育センターを見学しました。学芸員に案内いただき、次いで教科書の展示、神奈川県教育史編纂事業、学校資料室、教科書展示室、資料収蔵庫をご案内いただき、次いで教科書の展示、整理状況などについてご説明いただき、協議を行いました。学校資料は全国で散逸・廃棄が進み、危機的状況にあり、教育文化財として「残す」という意識を醸成し、その仕組みを作ることが急務であることから、教育センターと校史資料研究協議会が連携することの重要性を共有しました。

主な寄贈史料のご紹介

- 小田高女子制服（上着、ベスト、スカート、緑色校章バッジ） 宮崎聖子様（高35）より
- 第54回箱根駅伝関係史料（7区写真、ユニフォーム、ゼッケン、シューズ、横断幕、手旗など）、小田高陸上競技部関係史料（関東大会・県高校駅伝写真など） 森一郎先生（高26）より
- 第52回・第54回箱根駅伝関係史料（9区・4区電子画像） 石塚靖夫先生（高25）より
- 「第三回専門学校対抗駅伝競走優勝證」（大正11年）スキヤンデーター早稲田大学競技スポーツセンター江原正浩様より
- 第48回関東高等学校バスケットボール選手権大会関係史料（プログ



関東大会初出場を果たした女子バスケットボール部（平成6年）。小田高に女子が入学して以来、初の女子集団運動競技における快挙である

ラム、写真帳、スコアシート、8mmビデオカセットテープ、写真パネルなど） 山本博之先生（旧教職員）より
○小田原高校テニス部創部50周年記念誌「五十年の歩み」 小田高テニス部卒業生の会足立久雄様（高23）より
○小田原高校テニス部創部50周年記念誌「五十年の歩み」 小田高テニス部卒業生の会足立久雄様（高23）より

○故小峯松治郎様（中26）の小田中関係史料（書道作品、Zoologyノート、卒業證書、西村秀雄選手デビスカップ写真、創立四十周年記念式の閑院宮春仁王殿下ご出席記念写真）

小峯寿一様（高15）より

○「ああ紅の血は燃えて」「遙かな道のり」小田中日光会編集 故相田盛一様（中42）の奥様より

○故小泉重義先生（中37）所蔵史料（軟式庭球部「かりがね」、文芸部「息吹」、国語教科書・副読本、軟式庭球部賞状、「かながわ風土記」、在学中の教科書・ノート、高等学校教員再教育史料、生徒会史料「学校概観」「学校要覧」、「教科学習の方法」「勉学のしおり」、「小田高生活の手引」、「図書館報」、「小田高新聞」、「P.T.A.広報紙」「かしの葉」、修学旅行・体育祭・軟式庭球部などのアルバム、卒業アルバム、周年記念史、同期会記念誌など 小泉温亮先生（高28）

○第27回小田高祭一年3組制作8mmフィルム映画「あの男に注意しろ！」（DVD）石和浩次様（高30）より
○放送部制作DVD「母なる坂」放送部北村様（3年次）より

史料館公開スタッフ（ボランティア）募集中！

小田高が好きな人大歓迎！史料館でボランティアをしてみませんか？

史料館では、令和2年の開設から公開行事が増えましたので、笑顔で来館者を案内してくださるボランティ

アスタッフを募集しています。「小田高を卒業したけれど、小田高に関わりたい」「小田高の歴史に興味がある」「史料館の公開に協力したい」、

そんな皆様の応募をお待ちしています！

小田高が好きな人大歓迎！史料館でボランティアをしてみませんか？

史料館では、令和2年の開設から公開行事が増えましたので、笑顔で来館者を案内してくださるボランティ

アスタッフを募集しています。「小田高を卒業したけれど、小田高に関わりたい」「小田高の歴史に興味がある」「史料館の公開に協力したい」、

そんな皆様の応募をお待ちしています！

活動内容は、受付、案内、看護など。活動日時は、各定例公開の1ヶ月前に入力ください。

2ヶ月前にメールでお知らせしますので、ご都合のよいときにご参加ください。

交通費（一律）を支給します。応募方法は、権友会ホームページの「史料館公開スタッフ登録フォーム」にご入力ください。



久しぶりの総会



フレーフレー小田高

総会後の講演では、仮野慎一史料委員長（高31）に「小田原高校中等教育史料館」の展示内容・収蔵品等についてお話をいただきました。小田高の歴史、諸先輩の功績等、いままさらながら、その偉大さを再認識しましたところです。ソフトテニス部の顧問を長い間務められた小泉重義先

生（中37）のテニスに関する遺品が本年度史料館に収められたとのこと。近いうちに見学したいと思っています。

湯河原地区 小田高会

小田高会

生（中37）のテニスに関する遺品が本年度史料館に収められたとのこと。近いうちに見学したいと思っています。

湯河原地区小田高会会長 小澤穂（高16）

地域・職域等同窓会の動き

県庁小田高会

県庁小田高会は、コロナによる休止を経て4年ぶりとなる総会を、今年7月12日に、横浜中華街の「金香樓」において開催しました。

総会では、来賓として吉川伸治小田高同窓会長（高23）、中島良光校長、山本茂校内幹事（高29）をお招きし、O.B.・現役会員をあわせ35名が参加しました。

冒頭、退職された河鍋章前会長（高33）のあいさつと浦邊哲新会長（高35）の紹介がありました。

また、来賓の方々のごあいさつでは、同窓会の活動状況や卒業生の進路などで様々な成果をあげている小田高生の近況報告をいただきました。

その後の懇談の時間は、今回、20代から30代の若手の参加者が半数を占めたこともあり、仕事や世代を超えた輪があちらこちらで出来、大変活気のあるものになりました。中でも、4年ぶりの開催で今回初参加となつた、天利友亮さん（高66）、高崎鞠子さん（高66）、湯川昌輝さん（高66）、深町茜さん（高68）、逢田友里香さん（高68）、秦野広尊さん（高

66）今年度の行事として、パークゴルフ、ボウリング、新年会を計画していますので、会員の皆さまのご参加



公開スタッフ
ご登録フォーム

70)、吉村多絵さん(高70)、栗田侑輝さん(高71)による自己紹介では、高校時代のエピソードなども交えたユーモアあふれる話が続き、温かい拍手と笑顔に包まれました。

最後の参加者全員による校歌・応援歌の齊唱では、CD音源が流れないハプニングにもかかわらず、アカペラでの大合唱となりました。

記念撮影でお開きの後も若手会員の輪がいつまでも尽きない姿に、県庁小田高会の発展に手応えを感じる会となりました。

県庁小田高会会長 浦邊哲(高35)



富士ファイルム桜友会 令和4年度総会報告

富士ファイルム桜友会はコロナ禍の継続により、対面形式での定期総会の開催は予定していた令和元年度の総会を急遽中止して以来、実に4年

ぶりに令和5年5月26日(金)午後2時より南足柄市の女性センター会議室で開催しました。出席者は二十名。

奥津博(高14)会長の挨拶の後、議長に小宮正雄氏(高19)を選出し、令和4年度事業報告・決算報告に続いて令和5年度の事業計画(案)・予算(案)を事務局長の佐野益夫氏(高19回)、会計の高橋悦雄氏(高24)が内容を説明実施、採決により原案通り可決承認されました。

総会終了後、休憩の後、記念講演会の開催となりました。

県庁小田高会会長 浦邊哲(高35)

今回の講師は富士ファイルムのOBであり、小田原市で環境審議会委員や市文化レポーター等を務め広く市民文化活動をされている深野彰氏にお願いしました。演題は「日本文化を見る中国文化——枕草子から現代まで」でした。堅苦しいタイトルであつたが、深野氏の在職時に携わった「写ルンです」や「チエキ」などの開発に絡むお話をなども挿み、また中国赴任の経験談などもあり、あつとう間の2時間で、皆満足な時間を過ごしました。

当会も高齢化により、次第に活動できる人が減少し登録会員数も大幅に減少しています。今後の会の運営にはいろいろな困難が生じると考えますが、できる限りの継続を考えていきたいと思います。

富士ファイルム桜友会事務局長 佐野益夫(高19)

23年10月14日(土)4年ぶりに現役・OB合同の総会を箱根湯本温泉の「ホテルおかだ」で開催しました。この「横浜銀行小田中・小田高会」は現役行員と関連会社社員、出向者ならびにOBで構成されており、現在会員数は60名(うち現役行員は20名)となっています。今年は懐かしい顔ぶれが30名集まり、久しぶりの再会に会場は笑顔で溢っていました。

横浜銀行 小田中・小田高会

の挨拶がありました。続いて古性会長から、今回バトンを渡された石川学(高34)次期会長が今後の抱負について語り、声高らかな乾杯の発声で開宴となりました。またOBを代表して井上茂樹(高13)元会長からは、



第34回小田高富桜杯バスケットボール大会を開催しました

令和5年8月7日(月)、コロナ禍で3年ぶりとなりましたが、第34回小田高富桜杯バスケットボール大会を小田原アリーナで開催しました。長い間小田高のバスケット部を指導された富桜義先生が令和5年2月に逝去され、追悼の大会ともなりました。今年度も小田高バスケ部OB・OGが指導するチームがミニバス・中学・高校から計24チーム集まり、カテゴリを超えた交流を行いました。指導者のOB・OGも上は高校21回生から

来年も皆さんに笑顔で会えるのを樂しみにしています。

遠山久恵(高38)

下は高校68回生までが参加し、世代の垣根を超えた交流にもなっています。昼休みには小田原市の守屋市長が訪問され、激励のご挨拶もいただきました。

さ



高校生が小中学生を指導したり小学生が高校生を応援したりするなど、一堂に会して試合をするだけではなく、バスケットボールを通して富桜杯ならではの交流をしながらの運営となりました。多くのOBからも大會賛をいただき、影で支えていた高校生が高校生を応援したりするなど、一堂に会して試合をするだけではなく、バスケットボールを通して富桜杯ならではの交流をしながらの運営となりました。多くのOBからも大會賛をいただき、影で支えていた

富桜先生の意志を受け継ぎ、今後も発展・継続していきたいと思いま

事務局 松澤俊介(高45)



高9「櫻九会」ファイナルも テニヤワニヤの幕切れ!!

5月20日（土）昭和56年に発足の「櫻九会」最後のパーティが小田高発祥の地にある「じんりきダイニング」で、80半ばのご老体33名参加で開催。パーティは学校の教室の設定で、まず1時間のホームルーム。委員長を抽選で選出された箱根湯本の小川則夫さんが、開会の挨拶と乾杯の発声。2時間は給食の時間。ご歓談の時間で大いに盛り上がる。3

委員長を抽出された箱根湯本の小川則夫さんが、開会の挨拶と乾杯の発声。2時間は給食の時間。ご歓談の時間で大いに盛り上がる。3予約団体が、ちらほら姿を現している」と。スピーチを短めに頼んだり、カットをしたり。「櫻九会」名物のG7広島サミットの喧騒から逃れて参加した、元小田高広島県人会会長の平野朝彦さんの閉会の言葉で、幕を降ろした。

東京都港区三田在住の武嶋嘉明さんより、最後の「櫻九会」に対する礼状が届きました。楽しかった様です。

「櫻九会のこと永年ありがとうございました。先日のファイナルの会参加が叶わなかった多くの友人のことを思い起こし、我等が青春を振り返ることが出来ました。ひとえに、奥津さんのこれまでのご尽力のお陰です。心から感謝します。

令和5年6月16日 武嶋

「青春」悔るながれ!!

常任幹事 奥津和彦

同期会の動き

高13 傘寿を越えたぞ！ 同期会 81名が参加

高13回生は、2019年5月以来

の4年ぶりの同期会を5月31日（水）12時からミナカ小田原4階のコン

ベンションホールで「傘寿を越えたぞ！同期会」と称して開催しました。驚くことに20名の幹事の予測を超える81名の参加者を得て、にぎやかに交流しあい、3時間では時間が足らないくらいに盛り上りました。

司会の誘導で進められた一番遠くから来てく

れた人をはじめ多くのメンバーオーのおしゃべりも楽ししく、それぞれの過

45年ぶりということもあり、お互にわからないことは十分想定されましたので、卒業アルバムの顔写真入りの名札を用意しましたが、開会前の受付のところでゼロ次会が始まっているクラスもありました。

恩師からお言葉をいただき高校時代に思いを馳せた後、ロック同好会の演奏、クラスごとの写真撮影会、お楽しみ抽選会などを楽しむ一方で、あちらこちらで久しぶりの再会を喜

たところです。

案内状の

「最後かもしれない」との

文言に反し、

今日の熱気と

勢いは次もや

ろうという流れを受けて、6月20日

の幹事反省会では2年後に開催する

ことに決まりました。

13回生の皆さん、それまで健康寿

命を延ばして再会しましょう。



高校第31期 喜びの同窓会 開催！

令和5年11月4日、高校第31期の

同窓会が、ミナカ小田原コンベンションホールで行われました。還暦

窓会を目指していましたが、コロナ禍の影響で3年、待ちに待った同窓会。そのためもあってか、全国各地から145名もの同級生が集まりました。恩師は、伊藤正夫先生、石渡武夫先生、伊藤晋一先生、石和伸之先生のご参加をいただきました。

45年ぶりということもあり、お互にわからないことは十分想定されま

ましたので、卒業アルバムの顔写真

入りの名札を用意しましたが、開会

前の受付のところでゼロ次会が始

まっているクラスもありました。

恩師からお言葉をいただき高校時

代に思いを馳せた後、ロック同好会

の演奏、クラスごとの写真撮影会、

お楽しみ抽選会などを楽しむ一方で、

あちらこちらで久しぶりの再会を喜

び、会話が弾む光景が見られました。

応援団指揮による校歌合唱や、万歳

三唱、約150名による全体写真の

撮影会等々、参加者全員の協力がな

いできないイベントでは、小田高

祭や体育祭のときのような一体感が

生まれたように感じました。

散会後、愛称サーティワンのLINEには、当日の写真や二回会の報告に加え、その後のゴルフコンペの企画や、サーフィン仲間の情報交換などが寄せられていて、まだしば

会員通信

5年度同窓会総会へ寄せられたものです。(概要)

一人一人が、とても喜んでいた姿
が印象的でした。



杉山博之(高31)

らく同窓会が
続いているよ
うな、そして
これから新た
な関係が始ま
るような、そ
んな未来を感
じられる同窓
会となつてい
ます。

ご冥福をお祈りいたします

訃報



創立五十周年記念図書館（現南館）

(1) 同窓会事業への会員参加の促進
学年同期会や地域・職域等同窓会の協力を得ながら、同窓生のネットワークを広げ、各種事業の企画に参

(2) 同窓会事業への会員参加の促進
同窓会事業への会員参加の促進

(3) 委員会等の活動
各委員会の事業計画について省略します。詳細はホームページをご覧ください。

(1) 各種役員に多くの女性が参加する
ように、引き続き呼びかけを行う。
(2) 事務局員の複数化に向けた取り組みを引き続き進める。

(1) 各種役員に多くの女性が参加する
ように、引き続き呼びかけを行う。
(2) 事務局員の複数化に向けた取り組みを引き続き進める。

(1) 各種役員に多くの女性が参加する
ように、引き続き呼びかけを行う。
(2) 事務局員の複数化に向けた取り組みを引き続き進める。

3年以上続いたコロナ禍も、2類から5類へと感染症の取り扱いが変わるとともに、社会経済活動を優先するとの考え方のもと、徐々に様々な制約が解除されてきている。こうした動きを踏まえ、同窓会・桜友会は、これまで同様に必要な感染対策をしっかりと行いながら、学校、PTA等の協力・連携のもとで、引き続き、総会をはじめ、桜友祭（ホーミングデー）、桜友ウォークなどの諸活動や広報、史料の収集・保

存・利用・展示、校歌祭への参加など、同窓会事業を着実に実施する。

また、「卒業生の活躍」事業については、プロジェクトチームの検討を踏まえ、当該卒業生の発掘に取り組み、分野別にデータベースに掲載するとともに、その中から活躍する姿を紹介することや、講演会等へ招いるなど、今後ともその充実強化に努める。

令和5年度 事業計画			
予算・決算の状況			
科目	令和5年度 予算額	令和4年度 予算額	令和4年度 決算額
[収入の部]			
繰 越 金	2,036,632	2,255,609	2,255,609
入 会 費	1,575,000	1,570,000	1,565,000
会 寄 付 金	6,600,000	6,570,000	6,690,000
諸 収 入	10,000	10,000	35,000
繰 入 金	318,368	314,391	419,145
合 計	10,540,000	10,720,000	10,964,754
[支出の部]			
事 務 費	1,420,000	1,140,000	870,486
事 務 局 費	480,000	480,000	418,629
常 任 幹 事 会 費	180,000	180,000	28,233
校 内 幹 事 費	10,000	10,000	0
会 員 連 絡 費	20,000	20,000	4,240
涉 外 費	80,000	80,000	108,540
消 耗 備 品 費	370,000	90,000	47,575
雜 費	280,000	280,000	263,269
事 業 費	7,650,000	7,220,000	6,020,196
桜友祭・総会費	1,000,000	800,000	696,962
入会記念品費	480,000	450,000	474,600
総務委員会費	170,000	270,000	271,145
交流委員会費	320,000	320,000	205,260
広報委員会費	70,000	70,000	25,000
史料委員会費	70,000	70,000	75,463
校歌祭委員会費	500,000	500,000	27,160
会報発行費	4,000,000	3,700,000	3,762,163
広報費	270,000	270,000	250,498
地域職域同窓会費	260,000	260,000	2,000
同期会結成費	150,000	150,000	50,000
中等教育史料館費	360,000	360,000	179,945
教 育 費	600,000	600,000	577,440
積 立 金	570,000	1,460,000	1,460,000
予 備 費	300,000	300,000	0
合 計	10,540,000	10,720,000	8,928,122

* 総会で報告された予算・決算をお知らせいたします。

詳細はホームページをご覧ください。

桜友会（同窓会）
からのお知らせ

『小田高百二十年史』
のご案内

母校は令和2年（2020）に創立百二十周年を迎えた。記念事業の一環として令和3年2月、「小田高百二十年史」創立百十周年からの歩み」を発刊しました。百年史、百十年史と同様に、思い出や感想をまとめた「記念誌」ではなく、事実を資料に基づいて客観的に記述する「記念史」とし、記念事業を記載しています。内容は次の通りです。

□ 絵 創立百二十周年記念事業、新たな学校施設、百二十周年の学校行事など

祝 辞 県教育長、記念事業実行委員長・同窓会会长、校長、PTA会長、生徒会会长など

第1章 学力向上の取組み

上進学重点校、グローバル教育研究推進校、理数教育推進校など

第2章 教育活動の推進

新部室棟「桜葉館」、新弓道場「櫻誠館」、新型コロナウイルス感染症など

第3章 創立百二十周年記念事業

希望する記念史の種類
書籍（送料・消費税込4,000円）、百年史CD-ROM（送料・消費税込3,000円）、百十年史（送料・消費税込1,000円）、二十年史（送料・消費税込1,500円）
・冊数
・お名前
・郵便番号
・ご住所
・お電話番号

口 絵 創立百二十周年記念事業、
新たな学校施設、百二十周年の学校
行事など

月 年表
平成24年3月3令和2年12月
A4判、横書1段組、表紙カラー
□ 絵8ページカラー、本文白黒、全
324ページ、無線綴じ製本です。
定価は1,500円（税込み）。発
送する場合も送料は同窓会が負担し
ます。ご購入希望の方は、次の必要
事項をご記入のうえ、郵便または櫻
友会ウェブサイトからお申し込みく
ださい。

まとめた「記念誌」ではなく、事実

学別合格者数の記録、権の葉文庫目録など

田高百一十年史 創立百十周年から
の歩み』を発刊しました。百年史、
百一年史二冊とも、思い出の感想を

第6章 同窓会 同窓会運営の自立
樺友祭、自然環境フォーラムなど
資料集 時代フライヤー日程等一覧、大

立百二十周年を迎えた。記念事業の一環として令和3年2月、「小

第5章 PTA 本部・常任委員会の活動、全国大会表彰など

毎日新聞
2020年2月2日

米飯など
人質記録

「小田高二二十年史」

記念式典、記念講演会、中等教育史

本郵便(株) 小田原郵便局 私書箱
15号 県立小田原高等学校同窓会宛

FAX、郵送（私書箱）による場合、P36同窓会連絡先宛て投稿をお願いします。

◆発行部数
約233500部(予定)

◆ 投稿先

本郵便（株）小田原郵便局 私書
15号 県立小田原高等学校同窓会
ウエブサイトからのお申し込み
「お問い合わせフォーム」に必
事項をお書きのうえ送信してくだ
い。お申し込みされた方には確認
メールを差し上げます。10日以内
確認メールが届かない場合はお手
ですが同窓会までお問い合わせく
さい。

代金のお支払い

記念史の到着後に下記口座にお
り込みください（同封する請求書
も記載されています）。振込手数
は購入者のご負担となります。

銀行名・横浜銀行
支店名・小田原支店
預金種別・普通預金
口座番号・02887432
口座名義・小田原高校同窓会名簿会
同期会、地域同窓会、職域同窓
運動部や文化部などのOB会など、
た、同窓生による事業や行事の開
の様子や開催予定の告知など同窓
の仲間にお知らせしたい記事の投
をお待ちしています。

メールの場合は、
kaihoo@odako.org
宛てにお送りください。

- ◆ **提出期限**
6年9月2日
原稿が遅くなる場合はご一報ください。
- ◆ **「八幡山」をホームページで見ることができます。**
会員通信、訃報、会費・寄付金納入者リストを除き、掲載された内容を小田高同窓会ホームページから閲覧できます。
- ◆ **個人情報にご注意ください**
会報や同窓会ホームページに原稿を掲載する際、個人が特定できる姓名や写真等が含まれる原稿をご投稿いただいた際は、必ずご本人の承諾を受けただきますようお願いいたします。
- ◆ **第36号「八幡山」に掲載する広告を募集します!!**
同窓会では同窓会事業の財源を確保するため、会報に広告を掲載しています。当会報は、全国の同窓会会員に配付しており、卒業生はもとよりご家族の方にもお読みいただけます。
- ◆ **広告の掲載を希望される方は、P36 同窓会連絡先までお申出ください**
- ◆ **発行時期**
6年12月中旬（予定）

◆発行部数	約23500部(予定)
◆会員	約22000部
在校生及び新入生	約1000部
教員・他校同窓会等	約500部
◆広告料	(寸法はおおよそです。)
① 横	8.8 cm × 縦 4.5 cm
	15,000円
（1頁5段のうちの最下段の半分）	
② 横	17.8 cm × 縦 4.5 cm
	30,000円
（1頁5段のうちの最下段）	
③ 横	17.8 cm × 縦 9.6 cm
	60,000円
（1頁5段のうちの下2段）	
広告料のお支払いは、お申込みを	
いただいた後、同窓会から振込口座	
をご連絡しますので、それによりお	
振込みください。なお、その際の振	
込手数料は、広告主様でご負担いた	
だきますようお願ひいたします。	
◆広告原稿	
広告の原稿（デザインを含む）は、	
申込みの際、「広告主様」自身でご用	
意ください。掲載時は白黒（グレイ	
可）となります。	
◆募集の締切り	
締切りは6年9月2日とさせてい	
ただきます。	
広告原稿の作成が遅れる場合は、	
遅くとも9月末までにお送りください	
。申込方法は、同窓会ホームページ	
をご覧ください。なお、会報の趣旨	
に沿わない場合や申込数が多数とな	
る場合はお断りすることがあります。	

会費は同窓会活動の源泉です！

◆同窓会は会費で運営されています。この会報「八幡山」は、会員全員に送られています。発送部数は、約2万2千部になります。

また、会費は、ホームカミングデー、校歌祭、校史展示室の運営、運動部等生徒の激励、新入会員記念品の贈呈など、さまざまな会の運営の源泉になっています。

◆納入はコンビニ・郵便局などで年会費3千円。ただし、卒業後1年目(19歳)は納入を免除し、卒業後2年目(20歳から6年目(24歳)までは、千円です。

年会費は、この会報に同封されている払取扱票をもってコンビニまたは郵便局で納入いただくなれば、郵便局で納入いただくなれば、次のお手数料によりお振込みください。

★銀行を利用
・口座番号00240-4-635525
・口座名 神奈川県立小田原高等学校
同窓会(現金取扱手数料別)
★銀行・信金から振込
・銀行名 ゆうちょ銀行(9900)
・支店 029(ゼロニキュウ)
・口座番号 当座 0063525
・加入者名(カナ) カナガワケンリツオダワラコウトウガツコウドウソウカイ
★ダイレクトバンキングを利用
パソコンや携帯電話などを操作して振込む方法もあります。
この方法は銀行などの支店に行か

なくともよく、いつでも利用でき、手数料が支店利用時よりも安くなるなどのメリットがあります。

◆なお、ご依頼人・通信欄において、などの例の通り、ご氏名のあとに卒業回数を必ず記入願います。

・払込用紙の場合
小田高 太郎 高45
・ATM、ダイレクトバンキングの場合
オダコウ タロウ コウ45
但し、ゆうちょダイレクトの場合、ご依頼人番号に卒業回数を記入願います(ゼロ)をつけてください。

◆終身会費が人気です
60歳以上の方は、年齢に応じた金額(60歳は5万円で1歳上がるごとにマイナス3千円。70歳以上は一律2万円)を納入することができます。

ご利用には、「郵便局の払取扱票」が必要です。詳しくは同封の「終身会費制度のご案内」をご覧ください。

なお、納入者名簿に掲載を希望されない方は、払込用紙の通信欄にその旨を記入してください。

芳志に運営委員会一同心より御礼申し上げます。

本基金では、小田高職員、PTA

各科教員が難関校受験に対応した指導法を受講し、授業に生かすことにしております。皆様から寄せられた大

切なご寄付はこの運営委員会において、学校からの支援要請に基き慎重に審査を行い、小田高及び小田先生に対する援助を行っております。

最近の支援内容は、次の2件です。

①昨年度に引き続き教員向け予備

校セミナー受講費(社会科2講座、

数学科1講座、国語科1講座、理科

1講座)に係る補助

②体育館工事に伴い、校外の施設

1口3千円で何口でも結構です。

納入方法
同封の「『がんばれ！小田高』応援基金」専用郵便払取扱票をご利用ください。

払込手数料は基金で負担します。

なお、現金で払込される場合の加算料金110円につきましては、当

基金での負担が難しいため、ご寄付いただきましたが、当基金の趣旨をご理解いただき、基金へのご協力をよろしくお願いいたします。

また、次の口座への振込も可能ですが、振込手数料は恐れ入りますが皆様にご負担をお願いします。

さが、振込手数料は恐れ入りますが皆様にご負担をお願いします。

補助金をもらつて同期会を始めよう！

また、各同期会において、同期の住所録一覧(Excelファイル等)が必要な場合には、申請書に希望内容と連絡先PCメールアドレスを追記いただければ、対応いたします。

(kenyukai@odako.org)宛てにメール

提出するか、会報「八幡山」に投

稿をお願いします。

銀行名：ゆうちょ銀行
金融機関コード：9900
店番：029

店名：○二九店(ゼロニキュウ店)
預金種目：当座預金
口座番号：0081599

口座名(カナ氏名)：ガンバレオダ
コウオウエンキキン

学習や部活に全力で取り組んでいる小田高生を支援するため、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

■ 同窓会へのご連絡は小田高ではなく同窓会へ

● 同窓会専用電話

**★TEL&FAX
0465-20-3281**

● 直接事務局員と話ができるのは

**★毎週火曜日
10:00～14:00**

■ 事務局員不在の火曜日

- 祝日と重なる火曜日
- 12月20日～1月6日までの火曜日
- 4月28日～5月5日までの火曜日
- 8月10日～17日までの火曜日

※ 事務局員が不在の日はFAX(電話と同じ番号)
または留守電をご利用ください。

■ 同窓会メールアドレス

kenyukai@odako.org

書類等の
送付は
私書箱へ

〒250-8691
郵便事業(株)小田原支店 私書箱15号
県立小田原高等学校同窓会 充て

問い合わせ等にはウェブの利用もできます。

<https://odako.org>

小田原高校同窓会



■ 「卒業生の活躍」データベースへ情報をご提供ください！

これまで史料委員会が全国レベルで活躍する卒業生を集めた「卒業生の活躍」というリストを作り、総務・交流委員会が総会で配布する小冊子「桜友会」に記載したり、桜友祭（小田高ホームカミングデー）や小田高祭でパネル展を開催したりして、高いご関心をいただきました。

この事業をより一層充実させ、同窓会の事業と位置づけるため、令和4年度にプロジェクトチームを組織して検討を重ねました。その結果、令和5年度から、カテゴリーを「全国」だけでなく「郷土」「地域」「旧職員」へ拡充し、データベースを導入し、総務・交流・広報・史料委員会が協力して事業に取り組むこととなりました。

つきましては、同期会・地域・職域等同窓会、部OB会、個人の皆様から積極的に情報をご提供いただきたく、蛭田交流委員長 メール hiruta@interhuman.co.jp 携帯 090-8478-0895 までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

◆ 目的

小田原高校は創立以来、多様な分野で指導的な役割を担う人材を数多く輩出してきた。これを記録し活用することにより、生徒、教職員、保護者、卒業生、及び郷土の人々が、小田原高校が時代を越えて社会に貢献してきたことを知り、豊かな未来を創っていく一助とすることを目的とする。

◆ データベース

データベースは「卒業生の活躍」(リスト) そのものではなく、各委員会等がさまざまな形で活用する際の情報源となるものである。明治から現代に至る各時代に社会の多方面にわたり貢献してきた卒業生について、同窓会が幅広く網羅し体系的に整理したデータベースを所有することは、同窓会の活動はもとより、学校の教育活動に寄与する上でも大きな意義がある。

◆ 情報の活用

各委員会等が目的に応じてデータベースから必要な情報を選択し、活用するものとする。データベースは、個人情報保護の観点から同窓会の内部資料とし、出版物やインターネット等で公になっていない情報を活用する場合は、本人の許諾を得る。

次ページに
続きます

◆データベース掲載基準

卒業生が存命か物故か、組織が現存するか否かにかかわらず、原則として次の基準に該当する者を掲載する。あらゆる人物について掲載の適否を判定できる詳細な基準を設けることは困難であるため、この基準は目安として運用し、幅広く卒業生を取り上げることを基本的な姿勢とする。

調査中の卒業生も掲載し、今後の調査や情報提供により完成度を高めていく。特に若い世代については、この基準に該当していないなくても、顕著な活躍が認められ、将来さらなる活躍が期待できる場合は掲載する。ただし、5年に1度見直しを行っていく。

この記録資料は、永く後世へ伝えられ、小田原高校の生徒や卒業生に資するものであることから、その判定は偏りがなく、公正で客観的に行うものとする。

〈I 全 国〉 全国や世界における卒業生の活躍を取り上げる。

- | | |
|----------|---|
| 1 皇 族 | 皇族だった者 |
| 2 政 治 | 国会議員、大臣、中央省庁の長官・事務次官、大使・総領事等 |
| 3 経 済 | 東京証券取引所プライム市場上場企業の経営者、著名な店・企業の経営者等 |
| 4 法 曹 | 最高・高等・地方裁判所の判事、最高・高等・地方検察庁の検事、日本弁護士連合会会長・副会長・事務総長等 |
| 5 学術・教育 | 大学学長・理事長・理事、学会会長、特定の分野で大きな業績を残した者等 |
| 6 文 学 | 芥川賞・直木賞・菊池寛賞の受賞者、著名な作品を創作した者等 |
| 7 芸 術 | 著名な活動をした者、著名な作品を創作した者等 |
| 8 芸 能 | 俳優、コメディアン、声優、漫画家、落語家師匠等 |
| 9 スポーツ | オリンピック・世界選手権・ワールドカップ・デビスカップの日本代表選手、プロ野球選手、プロサッカー選手、プロレスラー、箱根駅伝出場選手等 |
| 10 報 道 | 全国放送テレビ・ラジオ局のアナウンサー・キャスター、ジャーナリスト、番組プロデューサー等 |
| 11 軍事・防衛 | 大将、中将、少将、大本営参謀、陸将、海将、空将等 |
| 12 そ の 他 | 上記の分野に当てはまらない者 |

〈II 郷 土〉 県西（小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町の2市8町）及び県西周辺（二宮町、大磯町、秦野市、熱海市等）を中心とする神奈川県における卒業生の活躍を取り上げる。

- | | |
|---------|---|
| 1 政 治 | 県知事・副知事、県会議員、市町村の首長等 |
| 2 学術・教育 | 大学教授、教育長、教育委員長等 |
| 3 文 化 | 長年にわたり郷土の文化・自然・スポーツに貢献した者、各種団体代表者、神奈川文化賞受賞者等 |
| 4 寺 社 | 著名な寺社、郷土と結びつきの強い寺社、文化財を有する寺社の住職・宮司、各種団体代表者等 |
| 5 法 曹 | 家庭・簡易裁判所の判事、神奈川県弁護士会会長、弁護士等 |
| 6 医療・福祉 | 病院院長・理事長、医師会会長、歯科医師会会長、薬剤師会会長、昭和20年以前に開院した医院の医師、親子2代以上にわたる医師、福祉団体代表者、小田原市民功労者受賞者等 |
| 7 経 済 | 昭和20年以前に創業した店・企業の経営者、公共性の高い事業や先駆的・独創的な事業を行った店・企業の創業者・経営者、各種団体代表者、神奈川文化賞受賞者、小田原市民功労者受賞者等 |
| 8 そ の 他 | 上記の分野に当てはまらない者 |

〈III 地 域〉 郷土以外の全国各地域における卒業生の活躍を取り上げる。郷土の掲載基準による。**〈IV 旧 職 員〉 全国と郷土の掲載基準による。**

寄付金・会費納入状況（令和4年10月から令和5年9月まで）

卒年	会員数	亡	不明者	有効会員数	入金人数	入金額	入金率	卒年	会員数	亡	不明者	有効会員数	入金人数	入金額	入金率
旧教職員	978	261	326	391	7	21,000	1.79%	高26回(昭和46年~49年)	411	22	107	282	33	99,000	11.70%
小計	978	261	326	391	7	21,000	1.79%	高27回(昭和47年~50年)	406	32	60	314	24	72,000	7.64%
中学校															
中1回(明治34年)~中20回(大正14年)まで	1,287	1,129	157	1	0	0	0.00%	高28回(昭和48年~51年)	405	23	84	298	27	81,000	9.06%
中21回(大正10年~15年)	108	96	11	1	0	0	0.00%	高29回(昭和49年~52年)	452	24	62	366	34	102,000	9.29%
中22回(大正11年~昭和2年)	114	107	7	0	0	0	0.00%	高30回(昭和50年~53年)	443	15	145	283	22	66,000	7.77%
中23回(大正12年~昭和3年)	117	102	15	0	0	0	0.00%	高31回(昭和51年~54年)	445	8	129	308	43	129,000	13.96%
中24回(大正13年~昭和4年)	110	98	12	0	0	0	0.00%	高32回(昭和52年~55年)	453	18	76	359	61	183,000	16.99%
中25回(大正14年~昭和5年)	125	109	16	0	0	0	0.00%	高33回(昭和53年~56年)	445	17	88	340	27	81,000	7.94%
中26回(大正15年~昭和6年)	109	105	4	0	0	0	0.00%	高34回(昭和54年~57年)	451	12	67	372	35	105,000	9.41%
中27回(昭和2年~7年)	152	147	5	0	0	0	0.00%	高35回(昭和55年~58年)	455	9	128	318	24	72,000	7.55%
中28回(昭和3年~8年)	153	142	8	3	0	0	0.00%	高36回(昭和56年~59年)	445	10	104	331	17	51,000	5.14%
中29回(昭和4年~9年)	143	128	13	2	0	0	0.00%	高37回(昭和57年~60年)	402	9	129	264	22	66,000	8.33%
中30回(昭和5年~10年)	155	134	19	2	0	0	0.00%	高38回(昭和58年~61年)	454	9	139	306	14	42,000	4.58%
中31回(昭和6年~11年)	164	144	15	5	1	3,000	20.00%	高39回(昭和59年~62年)	465	6	164	295	26	81,000	8.81%
中32回(昭和7年~12年)	150	136	13	1	0	0	0.00%	高40回(昭和60年~63年)	455	5	163	287	27	81,000	9.41%
中33回(昭和8年~13年)	173	159	11	3	0	0	0.00%	高41回(昭和61年~平成元年)	468	9	111	348	19	57,000	5.46%
中34回(昭和9年~14年)	168	152	11	5	0	0	0.00%	高42回(昭和62年~平成2年)	513	4	124	385	17	51,000	4.42%
中35回(昭和10年~15年)	162	140	19	3	0	0	0.00%	高43回(昭和63年~平成3年)	477	3	116	358	13	39,000	3.63%
中36回(昭和11年~16年)	175	156	14	5	0	0	0.00%	高44回(平成2年~5年)	513	4	125	384	21	63,000	5.47%
中37回(昭和12年~17年)	177	151	18	8	0	0	0.00%	高45回(平成3年~6年)	457	6	131	320	16	48,000	5.00%
中38回(昭和13年~18年)	184	145	19	20	3	9,000	15.00%	高46回(平成3年~6年)	441	4	111	326	5	15,000	1.53%
中39回(昭和14年~19年)	188	142	23	23	0	0	0.00%	高47回(平成4年~7年)	439	2	117	320	8	24,000	2.50%
中40回(昭和15年~20年)5年制	197	157	19	21	2	6,000	9.52%	高48回(平成5年~8年)	427	3	125	299	8	24,000	2.68%
中40回(昭和16年~20年)4年制	206	154	20	32	0	0	0.00%	高49回(平成6年~9年)	414	4	117	293	10	30,000	3.41%
中41回(昭和17年~21年)中42回	97	72	17	8	2	6,000	25.00%	高50回(平成7年~10年)	398	3	122	273	9	27,000	3.30%
中42回(昭和17年~22年)	141	102	20	19	1	3,000	5.26%	高51回(平成8年~11年)	391	1	115	275	6	18,000	2.18%
中43回(昭和18年~23年)高1回	176	111	36	29	1	3,000	3.45%	高52回(平成9年~12年)	394	1	101	292	7	21,000	2.40%
中44回(昭和19年~23年)高2回	63	37	16	10	1	3,000	10.00%	高53回(平成10年~13年)	355	0	101	254	7	21,000	2.76%
併中1回(昭和20年~23年)高3回	26	0	0	26	0	0	0.00%	高54回(平成11年~14年)	357	2	106	249	1	3,000	0.40%
併中2回(昭和21年~24年)高4回	40	0	0	40	0	0	0.00%	高55回(平成12年~15年)	358	0	94	264	3	9,000	1.14%
小計	5,060	4,255	538	267	11	33,000	4.12%	高56回(平成13年~16年)	317	1	78	238	4	12,000	1.68%
高等学校															
高1回(昭和23年~24年)	112	81	7	24	1	3,000	4.17%	高57回(平成14年~17年)	394	3	101	290	3	9,000	1.03%
高2回(昭和23年~25年)	194	116	27	51	5	15,000	9.80%	高58回(平成15年~18年)	387	1	102	284	2	6,000	0.70%
高3回(昭和23年~26年)	320	200	43	77	7	21,000	9.09%	高59回(平成16年~19年)	318	0	71	247	4	12,000	1.62%
高4回(昭和24年~27年)	347	182	44	121	12	36,000	9.92%	高60回(平成17年~20年)	320	0	73	247	12	36,000	4.86%
高5回(昭和25年~28年)	377	186	40	151	22	68,000	14.57%	高61回(平成18年~21年)	317	0	74	243	1	3,000	0.41%
高6回(昭和26年~29年)	380	158	57	165	18	54,000	10.91%	高62回(平成19年~22年)	321	0	72	249	2	6,000	0.80%
高7回(昭和27年~30年)	412	180	39	193	25	75,000	12.95%	高63回(平成20年~23年)	313	1	58	254	11	33,000	4.33%
高8回(昭和28年~31年)	387	164	46	177	29	87,000	16.38%	高64回(平成21年~24年)	320	0	53	267	3	9,000	1.12%
高9回(昭和29年~32年)	400	156	52	192	30	90,000	15.63%	高65回(平成22年~25年)	320	0	57	263	3	9,000	1.14%
高10回(昭和30年~33年)	408	147	45	216	34	102,000	15.74%	高66回(平成23年~26年)	318	0	43	275	9	27,000	3.27%
高11回(昭和31年~34年)	388	127	25	236	36	108,000	15.25%	高67回(平成24年~27年)	320	0	41	279	2	9,000	0.72%
高12回(昭和32年~35年)	395	96	43	256	34	102,000	13.28%	高68回(平成25年~28年)	317	0	45	272	5	15,000	1.84%
高13回(昭和33年~36年)	389	81	40	268	30	90,000	11.19%	高69回(平成26年~29年)	320	0	29	291	10	10,000	3.44%
高14回(昭和34年~37年)	407	83	58	266	31	93,000	11.65%	高70回(平成27年~30年)	310	0	15	295	17	17,000	5.76%
高15回(昭和35年~38年)	379	76	54	249	17	61,000	6.83%	高71回(平成28年~31年)	314	0	10	304	13	13,000	4.28%
高16回(昭和36年~39年)	387	84	32	271	17	51,000	6.27%	高72回(平成29年~令和2年)	319	0	7	312	27	28,000	8.65%
高17回(昭和37年~40年)	405	69	55	281	17	51,000	6.05%	高73回(平成30年~令和3年)	316	0	11	305	16	16,000	5.25%
高18回(昭和38年~41年)	527	76	74	377	26	78,000	6.90%	高74回(平成31年~令和4年)	313	0	0	313	16	16,000	5.11%
高19回(昭和39年~42年)	470	58	60	352	18	54,000	5.11%	高75回(令和2年~令和5年)	314	0	0	314	0	0	0.00%
高20回(昭和40年~43年)	485	43	85	357	19	57,000	5.32%	小計	29,216	2,821	5,598	20,797	1,271	3,639,000	6.11%
高21回(昭和41年~44年)	455	61	52	342	16	48,000	4.68%								
高22回(昭和42年~45年)	434	48	76	310	20	60,000	6.45%								
高23回(昭和43年~46年)	438	36	58	344	20	59,000	5.81%								
高24回(昭和44年~47年)	429	23	94	312	16	48,000	5.13%								
高25回(昭和45年~48年)	414	19	91	304	25	81,000	8.22%								

※終身会費納付者を除く。

※中1回から高74回までは会費の納入をお願いしている卒業回数です。高75回の方々には、

ご寄付という形で納入頂いています。

終身会費納入者

同窓会活動は同窓生の会費で運営されています

4年10月から5年9月までの年会費納入者と寄付者のみなさん（敬称略）

年会費・寄付金納入者

◆令和5年度から 文科省のSSHに

小田原高校は、平成31年度に県教育委員会より理数教育推進校の指定を受けて以来、先進的な理数教育を実施するとともに、大学との連携や、国際性を育むための取組みを推進してきました。この度、その功績が認められ、昨年度末に、文部科学省よりSSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）に指定されました。指定期間は令和5年度から令和9年度までの5年間（第Ⅰ期）。小田原高校のSSHは、地域との連携を生かし、探究を中心としたサイエンス・プロジェクトを展開することで、イノベーションを創出する次世代のグローバル・サイエンス・リーダーの育成を目指します。

◆令和6年度から 学力向上進学重点校に

県教育委員会では、県立高校改革実施計画において、将来の日本や国際社会でリーダーとして活躍できる人材を育成する学校として学力向上進学重点校を位置づけ、これまでに5校が指定されていました。この

度、新たに小田原高校を含む3校が指定され、令和6年度から8校が学力向上進学重点校となります。これも、本校職員・生徒による日々の努力と保護者の皆様による本校へのご理解・ご協力、そして何よりも、桜友会の皆様のご支援とお力添えの賜物と存じております。この場をお借りして深く感謝申し上げます。今後も、本校の教育活動を更に充実させ、将来のリーダーに求められる資質・能力を育むとともに生徒の希望する進路の実現を図ります。

新会員を迎えて ～同窓会入会式～

今年も新たに314人の会員を同窓会に迎えました。新型コロナウイルス感染症もようやく落ち着きを見せる中で、例年は体育館で行われていましたが、体育館の改修工事のため、視聴覚室（集成館ホール）で今年の卒業生のみの参加で思い出の詰まった母校からの卒業式を翌日に控えた3月3日、第75回卒業生の桜友会（同窓会）入会式が行われました。

校内幹事の下田先生の司会で、まず、吉川伸治会長（高23）が新入会員に対して、コロナ感染症の流行で、学業をはじめとする諸活動に影響がある中、それを乗り越えた苦労をねぎらうとともに、ホームカミングデーをはじめとする同窓会の活動内容、3万人を超える卒業生が社会の各分野で活躍していることなどを

紹介し、入会への歓迎とこれまでの活躍を期待する激励の言葉を贈りました。引き続き、各クラスから選出された2人ずつの幹事の紹介があり、高75回生の常任幹事となつた中山和哉さんに、会長から常任幹事の委嘱状が手渡されました。また、新入会員に入会記念品として、マグカップを贈り、入会式を無事に終えることができました。

今年も校内幹事の先生をはじめとして、学校のご理解とご協力により、ほとんどの卒業生が同窓会の会員となりました。



中学からの進学状況

(5年5月1日現在)

(1) 出身中学校別生徒数

出身中学	年次	合計			
		1年	2年	3年	合計
小田原市	城山	10	3	9	22
	白鷗	4	9	5	18
	白山	10	8	16	34
	城南	4	7	5	16
	鴨宮	8	8	7	23
	千代	8	9	6	23
	国府津	5	4	5	14
	酒匂	3	7	7	17
	泉州	8	6	5	19
	橘	3	0	0	3
南足柄市	城北	14	9	8	31
	南足柄	4	4	5	13
	岡本	5	5	9	19
	足柄台	7	4	9	20
足柄上郡	中井町	5	4	3	12
	大井町	7	6	11	24
	松田町	1	2	2	5
	山北町	4	2	1	7
	開成町	12	12	10	34
	箱根町	0	0	0	0
	真鶴町	1	1	2	4
秦野市	湯河原町	2	4	3	9
	本町	11	9	6	26
	南東北	14	7	6	27
	大根	3	6	7	16
	西	7	4	14	25
	南が丘	0	13	4	17
	沢	3	6	1	10
伊勢原市	鶴巣	2	3	1	6
	山王	3	1	5	9
	成瀬	8	5	3	16
	伊勢原	11	3	6	20
	中沢	6	5	2	13
平塚市	江陽	7	5	1	13
	太洋	6	0	1	7
	春日野	5	1	0	6
	浜岳	9	7	8	24
	大野	0	1	5	6
	神田	0	0	1	1
	土沢	0	0	0	0
	金旭	1	1	3	5
厚木市	中原住	2	6	2	10
	大山城	2	0	0	2
	神明	1	0	4	5
	中神	1	0	1	2
	大山	0	0	1	1

出身中学	年次	合計			
		1年	2年	3年	合計
平塚市	金目	1	0	1	2
大磯町	陵	0	3	1	4
中郡	磯	6	11	3	20
二宮町	大國	5	4	4	13
茅ヶ崎市	二宮	11	8	9	28
高座郡	西	3	1	1	5
大井町	第一	4	2	14	20
大庭	嶺	1	6	3	10
相模原市	松林	2	2	2	6
中郡	西浜	2	1	1	4
横浜市	松浪	2	7	2	11
中郡	梅田	2	2	2	6
中郡	鶴が台	2	2	0	4
中郡	須賀	7	10	7	24
中郡	北陽	5	0	1	6
中郡	中島	1	1	1	3
中郡	蔵	1	2	5	8
中郡	赤羽根	2	1	1	4
中郡	萩園	0	1	0	1
中郡	アレシア	1	0	0	1
中郡	寒川	0	1	1	2
中郡	旭が丘	2	2	2	6
鎌倉市	寒川	1	2	1	4
鎌倉市	深沢	1	0	0	1
鎌倉市	横浜大附属	0	0	0	0
鎌倉市	玉繩	1	1	0	2
鎌倉市	腰越	0	1	0	1
藤沢市	明治	2	3	5	10
藤沢市	鶴沼	1	3	1	5
藤沢市	片瀬	1	1	0	2
藤沢市	湘洋	0	3	2	5
藤沢市	藤ヶ岡	0	0	1	1
藤沢市	高浜	1	1	1	3
藤沢市	善行	0	1	0	1
藤沢市	大庭	0	0	3	3
藤沢市	大村	0	3	1	4
藤沢市	長後	1	0	0	1
藤沢市	瀧の沢	2	0	0	2
藤沢市	大清水	1	0	0	1
藤沢市	羽鳥	2	2	6	10
厚木市	厚木	1	3	3	7
厚木市	藤塚	1	0	0	1
厚木市	睦合	1	0	0	1
厚木市	小鮎	0	0	1	1
厚木市	玉川	2	5	1	8
厚木市	南毛利	2	2	3	7
厚木市	東名	1	2	2	5

(2) 居住地別人数

居住地	年次	合計			
		1年	2年	3年	合計
小田原市	77	72	75	224	
	16	15	24	55	
足柄上郡	7	4	11	22	
	4	2	1	7	
足柄下郡	12	12	10	34	
	1	2	2	5	
秦野市	4	4	3	11	
	3	4	3	10	
伊勢原市	0	0	0	0	
	1	1	2	4	
中郡	46	55	46	147	
	28	15	16	59	
相模原市	14	9	9	32	
	10	15	8	33	
鎌倉市	35	24	27	86	
	32	39	39	110	
高座郡	3	5	7	15	
	10	17	18	45	
藤沢市	2	2	0	4	
	0	4	2	6	
海老名市	11	10	12	33	
	0	2	1	3	
厚木市	0	1	1	2	
	2	2	0	4	
座間市	1	1	2	4	
	11	10	12	33	
横浜市	2	2	0	4	
	0	1	1	2	
大和市	1	0	0	1	
	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
	0	0	0	0	

令和4年度 入試結果と進路状況

(5年5月1日現在)

大学別合格者数

【国立大学】

合格者合計82名
(現役生69名、既卒生13名)

大学名	合計	内 現役
北海道	3	2
弘前	2	1
岩手	1	1
東北	3	3
秋田	0	0
山形	0	0
茨城	1	1
筑波	6	5
宇都宮	0	0
群馬	0	0
埼玉	0	0
千葉	4	3
お茶の水女子	1	1
電気通信	1	1
東京	3	1
東京医科歯科	0	0
東京海洋	1	1
東京外国语	3	3
東京学芸	2	2
東京芸術	0	0
東京工業	4	2
東京農工	2	0
一橋	2	2
横浜国大	22	21
新潟	0	0
富山	0	0
金沢	4	3
山梨	2	2
信州	2	1
岐阜	1	1
静岡	4	4
浜松医科大学	0	0
名古屋	4	4
名古屋工業	0	0
三重	1	1
京都	1	1
京都工芸繊維	0	0
大阪	0	0
神戸	1	1
奈良教育	0	0
島根	0	0
山口	0	0
愛媛	1	1
長崎	0	0
大分	0	0
宮崎	0	0
琉球	0	0

*合格者が0名の大学は、前年度、または前々年度に合格実績があります。

【公立大学】

合格者合計36名
(現役生35名、既卒生1名)

大学名	合計	内 現役
札幌医科大学	0	0
国際教養	0	0
会津	0	0
福島県立医科大学	0	0
高崎経済	0	0
東京都立	17	17
神奈川県立保健福祉	3	3
横浜市立	9	9
石川県立	0	0
金沢美術工芸	0	0
都留文科	0	0
静岡県立	3	3
静岡文化芸術	0	0
名古屋市立	1	1
大阪公立	2	2
岐阜薬科	1	0
奈良県立	0	0
島根県立	0	0
広島市立	0	0

【私立大学】

合格者合計1107名
(現役生1011名、既卒生96名)

大学名	合計	内 現役
酪農学園	1	0
東北医科大学	0	0
国際医療福祉	3	3
埼玉医科大学	1	1
文教	3	3
獨協	3	3
神田外語	0	0
千葉工業	0	0
青山学院	65	63
亜細亜	0	0
高千穂	1	1
跡見学園女子	0	0
桜美林	3	3
大妻女子	0	0
嘉悦	0	0
学院	14	14
学院女子	0	0
共立女子	1	1
杏林	3	2
北里	17	16
慶應義塾	29	25
工学院	7	6
国学院	21	21
国際基督教	0	0
国士館	1	0
駒澤	24	22
駒沢女子	0	0
産業能率	2	2
昭和	2	2

大学名 合計 内 現役

昭和女子	1	1
昭和薬科	8	8
芝浦工業	16	10
白梅学園	0	0
順天堂	3	3
上智	15	14
女子美術	0	0
実践女子	0	0
成蹊	10	10
成城	24	24
専修	44	43
聖心女子	0	0
清泉女子	0	0
聖路加国際	0	0
創価	0	0
大正	0	0
大東文化	0	0
拓殖	3	3
玉川	3	3
多摩美術	7	7
中央	71	69
津田塾	4	4
帝京	5	5
帝京平成	4	4
東海	41	37
東京医科	0	0
東京医療保健	0	0
東京家政	1	1
東京経済	0	0
東京工科	6	6
東京工芸	0	0
東京歯科	0	0
東京女子	3	3
東京女子医科	0	0
東京慈恵会医科	0	0
東京造形	0	0
東京電機	12	7
東京都立	39	33
東京農業	13	11
東京薬科	2	2
東京理科	40	30
東邦	1	0
東洋	23	23
東洋学園	0	0
二松学舎	2	2
日本体育	0	0
日本	58	47
日本獣医生命科学	5	1
日本女子	8	8
法政	87	80
星薬科	8	7
武藏	2	2
武藏野	14	14
武藏野音楽	0	0
武藏野美術	2	2

大学名 合計 内 現役

明治	106	94
明治学院	43	42
明治薬科	2	2
明星	14	14
目白	0	0
立教	42	41
立正	0	0
和光	0	0
早稲田	42	36
麻布	3	3
神奈川	33	33
神奈川工科	5	5
鎌倉女子	3	3
関東学院	2	2
相模女子	2	2
松蔭	0	0
湘南医療	3	3
湘南工科	0	0
洗足学園音楽	0	0
桐蔭横浜	0	0
東洋英和女学院	0	0
フェリス女学院	0	0
横浜薬科	1	1
金沢工業	0	0
中京	3	3
昭和音楽	2	2
鶴見	3	3
愛知	1	1
名古屋外国语	1	1
皇學館	0	0
同志社	3	2
佛教	0	0
立命館	3	3
龍谷	2	2
関西	0	0
近畿	1	1
岡山理科	1	0
湘南鎌倉医療	0	0
東京国際工科専門職	0	0

【短期大学】

合格者合計1名
(現役生1名、既卒生0名)

大学名	合計	内 現役
東京歯科	0	0
共立女子	0	0
鎌倉女子	0	0
和泉	1	1

校種別の進路

	計
4年制大学	284
短期大学	1
専門学校等	1
留学(準備)	0
就職	0
進学準備・その他	29
合計	315

小田高祭

6月17日(土)、18日(日)

今年度の小田高祭は、4年ぶりに完全なる一般公開で実施されました。昨年度、新型コロナウイルスの拡大情勢を鑑みながらも、事前申込のあった生徒の家族1名の来場を許可して実施した経験を活かして、準備期間や練習、当日の発表、片付けなど、感染対策を講じて行なった。

17日の開会式は全校放送で実施した。開幕に先立ち、中庭において吹奏楽部のファンファーレが演奏された。その後、一定の時間差をつけて2、3年生の劇の発表、文化部の発表が行われた。会議室では1年生の折り鶴アートの展示が行われた。

18日の閉会式は中庭にて行われた。その後、運営スタッフによる後夜祭が行われ、ダンス部・軽音楽部などが盛り上げた。さわやかな初夏の風情が感じられる2日間に開催され、4000人を超す来校者で大いに賑わった。小田高祭大賞の各賞は、次の通り。

小田高祭大賞	1位	2位	3位
1年 折り鶴アート	1-8	1-1	1-6
2年 劇	2-4	2-7	2-1
3年 劇	3-5	3-4	3-9
部活動	ダンス部	軽音楽部	JAZZ研究部



タイムスケジュール

*当日変更になります。改訂を明記くださいよろしくお願いします。

予行日：9月13日(木) 実施日：9月14日(木) 予備日：9月15日(金)

参加	競技名	招集開始	競技時間	所要時間
1 全員	開会式	8:30	8:45 ~ 9:05	20分
2 1年/全員	○人○脚リレー	開会式後	9:10 ~ 9:25	15分
3 2年/全員	ムカデリレー	開会式後	9:30 ~ 9:40	10分
4 3年/全員	ハリケーン	9:35	9:45 ~ 10:10	25分
5 12年/代表者	因縁の白ウサギ	10:05	10:15 ~ 10:35	20分
6 12年/代表者	騎馬戦	10:30	10:40 ~ 11:10	30分
7 3年/全員	フォーキダンス	11:05	11:15 ~ 11:30	15分
8 12年/全員	応援合戦	11:35	12:25	50分
	屋休み		12:25 ~ 13:25	60分
9 部活動対抗リレー		13:15	13:25 ~ 13:40	15分
10 全学年/代表者	種取り合戦	13:35	13:45 ~ 14:15	30分
11 全学年/代表者	団対抗リレー	14:10	14:20 ~ 14:35	15分
12 定員	閉会式		14:45 ~ 15:00	15分
	写真撮影		15:00 ~ 15:20	20分
	片付け		15:20 ~ 16:05	45分
希望者	後夜祭(校庭)		16:30 ~ 17:15	45分

17:00 城山陸上競技場 完全撤収

●開会式	●閉会式
1.開会宣言	1.学校長のことば
2.校旗掲揚	(2分) (生徒会長)
3.学生長のことば	2.生徒会長のことば
4.副手宣言	(2分) (校長)
5.本校からの連絡	3.成績発表
6.準備体操	①部活動対抗リレー ②Tシャツの部 ③横断幕の部 ④競技組合の部 ⑤応援合戦の部
	4.校旗降納 5.閉会宣言
	(2分) (スポーツ委員)
	(1分) (生徒会副会長)

体育祭

9月14日(木)

今年度の体育祭は、昨年同様に小田原市城山競技場で行われました。残暑厳しい日々の中、8競技、2演目が予定通り実施されました。9月4日(月)から始まった応援合戦練習では、新型コロナウイルスの拡大に伴い、思うような練習ができないクラスがありました。しかし、2年次生が中心となり団をまとめ、一致団結して頑張る姿がありました。体育祭の締めくくりである団対抗リレーでは、各年次の精鋭たちによるガチンコ勝負。スタンドからの声援も熱を帯び、大いに盛り上がりました。各賞は、次の通り。

	1位
競技の部	白団
横断幕の部	桃団
Tシャツの部	青団
応援合戦	青団



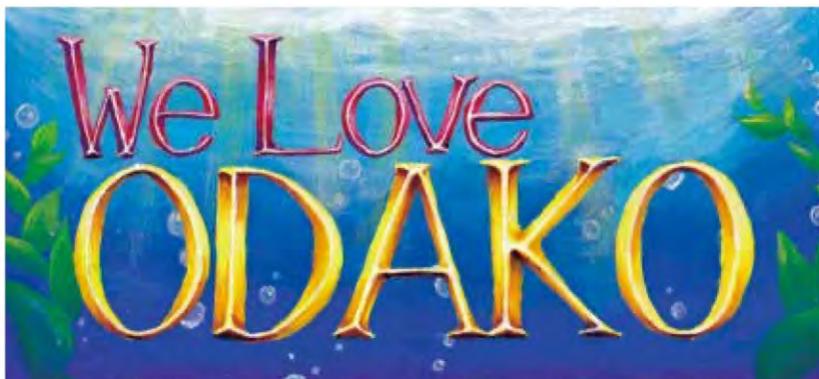
部活動の記録（令和4年後期～令和5年前期）

檜の葉 文庫

「檜の葉文庫」は、本校が「卒業生の著書や論文を広く収集し、各界の卒業生の業績を一堂に集め、在校生の指針とすること」を目的に、平成元年（1989）に県下で初めて創設しました。現在は卒業生、在校生、旧職員、現職員の著書を集めたもので、小説、実用書、ビジネス書、教科書、専門書、画集、雑誌など多岐にわたります。著書をお持ちでしたら、ぜひ小田高図書館へご寄贈ください！利用方法につきましては学校にお任せください。

※令和4年9月～令和5年8月寄贈分

卒業回数	著 者	書 名
中42	加藤隆二	栢山忘れな草
高5	佐久間俊治 ※第33号で著者を誤って掲載してしまいましたので、再度掲載いたします。お詫び申し上げます。	みんなで学ぶ富士山と酒匂川 足柄歴史新聞富士山と酒匂川 新編富士山と酒匂川
高11	小田原史談会	小田原史談 第273号
高20	青木良一ほか	片岡日記 大正編
高20	木曾正雄	赤い夕日が沈む ソ満国境での軍隊生活 とシベリヤ抑留の記録
高21	沖津忠行	仕事の足跡（論文集）
高22	奥津弘高	徳川慶喜公の散歩道、ペリー艦隊の航海日誌
高22	勝俣隆ほか	コロナ収束のための処方箋
高31	福住伸一ほか	事例で学ぶ人を扱う工学研究の倫理、顧客経験を指向するインターラクション



第35号

神奈川県立小田原高等学校
同窓会 樫友会連絡先
電話・FAX 0465-20-3281
メールアドレス
kenyukai@odako.org
私書箱 〒250-8691
日本郵便㈱小田原郵便局
私書箱15号
県立小田原高等学校同窓会
ホームページ <https://odako.org>

タイトルイラスト:美術部 西周沙織さん(高68)在学中の作品



小田原高校同窓会 樫友会ホームページを
ご活用ください

小田原高校同窓会

検索



携帯・スマホから
住所変更等を連絡できます

メールは kenyukai@odako.org

同期会、地域・職域等同窓会、部OB会などの開催案内をホームページに掲載し、広く参加を呼びかけることができます。

樫友祭(小田高ホームカミングデー)の開催の様子をはじめ、同窓会の活動や小田高の写真をご覧になれます。

ホームページから同窓会に住所変更を連絡したり、各種問い合わせをすることができます。

「八幡山」の原稿も募集中です。会費納入もお忘れなく!!